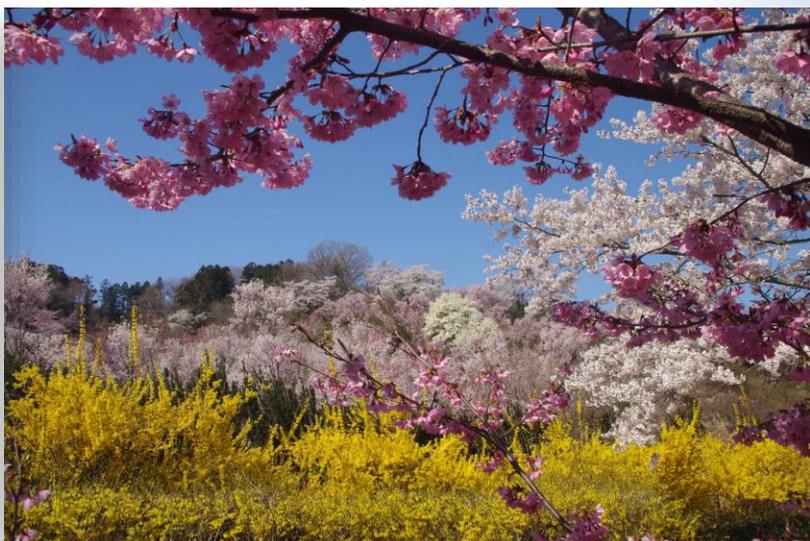


令和8年度 予算(案)の概要 ～個別事業集～



◆2款 総務費

No.	新規 拡充	事業名	予算額 (千円)	うち補正 前倒し分	説明	担当部
1		議会答弁検討システムの運用	924		本市が開発に携わった専用システムを活用し、議会答弁の作成・検討業務の効率化、ペーパーレス化を推進します。	総務部
2	新規	システムの標準化とガバメントクラウドの運用	511,406		標準化された住民記録、税、福祉などの業務システムをガバメントクラウド上で運用します。	政策調整部
3		電子入札の実施	10,921		応札者の利便性の向上を図り、また、災害時等にあっても入札を継続するため、電子入札システムを運用します。	財務部
4		笑顔つなぐまち交流	250		本市への長期避難者と周辺住民等の交流事業を支援します。	市民・文化スポーツ部
5		文書管理システムの運用	24,236		電子決裁、文書のデータ保存管理ができる文書管理システムを運用します。	総務部
6		市政だより等作成	102,021		市政だより等を発行・配布し、市政情報及び観光・伝統・文化等の各分野における本市の魅力を広く発信します。	政策調整部
7	拡充	メディア広報	42,557		各メディア、福島駅西口のエールビジョン等により、市政情報等を効果的に発信します。 R8は、新たにデジタル広告を活用します。	政策調整部
8	新規	広報戦略の強化	1,740		ホームページやSNSなどの閲覧情報を見える化するダッシュボードを導入し、発信効果の確認とデータ分析を行うことで、本市の情報発信力を強化します。	政策調整部
9		放射線対策ニュースの作成	436		農作物モニタリングや健康管理など、放射線対策に関する情報を発信します。	政策調整部
10		環境に配慮した公用車の配備	14,589		電気自動車やハイブリッド自動車の導入を進めます。 (R8:HV6台)	財務部
11	新規	未来戦略の推進	1,000		データ行政の確立と市民との対話を掛け合わせ、市民目線の新しい街づくりを推進します。	政策調整部
12		福島市応援関係人口創出	2,821		福島市ゆかりの会及び東京ふくしま笑而会への加入促進と会員同士の交流会を実施するほか、首都圏在住の若者を集めた交流会を開催し、関係人口(本市のファン)の創出・拡大を図ります。	政策調整部

◆2款 総務費

No.	新規 拡充	事業名	予算額 (千円)	うち補正 前倒し分	説明	担当部
13		ふるさと納税促進	991,550		まちづくりを前面に打ち出し、賛同と共感を得ながらふるさと納税による本市への寄附を促進します。(寄附目標 20億円)	政策調整部
14		シティセールス推進	2,100		マーケティングデータ分析ツールの活用と、ふるさと納税ポータルサイトでの魅力拡散キャンペーンを仕掛け、本市の認知度向上とファン拡大を図ります。	政策調整部
15		ふくしま田園中枢都市圏推進	995		ふくしま圏域9市町村が持つ都市機能や強み、特長等を生かし、魅力あふれる圏域の実現に向けた取組を連携して推進します。	政策調整部
16		産官学連携プラットフォームの 推進	1,000		産業界・市・高等教育機関による連携体制「福島市産官学連携プラットフォーム」を活用し、若者の地元定着や人材育成等の地域課題の解決に取り組みます。	政策調整部
17		公民連携の推進	2,342		「ふくしまTokyo HUB」、「公民こねくと」を活用し、民間事業者等と連携して地域課題解決のための取組を推進します。	政策調整部
18		総合計画の策定	1,502		市民との共創のまちづくりの理念のもと、本市が目指す将来のまちの実現へ向け、まちづくりの羅針盤となる新しい総合計画を策定します。	政策調整部
19		共創のまちづくり推進	900		R8から開始するふくしま共創のまちづくり計画を周知し、共創のまちづくりを推進します。	政策調整部
20		若者のまちづくりチャレンジを 応援	293		若者が主体性を持ちながら気軽に市事業や地域活動に参加できる仕組み「こくりナビ」を展開します。	政策調整部
21		市民活動活性化支援	1,864		市民活動の活性化を図るため、団体の活動経費の一部を補助します。	政策調整部
22		国際交流員の配置	5,691		外国青年を国際交流員として配置し、外国人の視点を取り入れた事業の企画・運営や国際交流協会を通じた国際交流活動を実施します。	市民・文化スポーツ部
23	拡充	国際交流事業支援	3,510	1,700	市国際交流協会が実施する国際交流や多文化共生を推進するイベントとともに、R8は外国人の雇用を検討する企業向けセミナーなどを支援します。	市民・文化スポーツ部
24		外国人生活相談	5,152		外国人のためのワンストップ生活相談窓口を運営し、多様な相談に対応します。	市民・文化スポーツ部

◆2款 総務費

No.	新規 拡充	事業名	予算額 (千円)	うち補正 前倒し分	説明	担当部
25		多文化共生センター管理運営	10,874		多文化共生センター「Yuiverse」において、在住外国人の孤立を防ぎ、外国人同士や外国人と日本人が交流できる場を提供します。	市民・文化スポーツ部
26		結・ゆい・フェスタ開催	1,500		市国際交流協会と共同で多文化共生イベント「結・ゆい・フェスタ」を開催します。	市民・文化スポーツ部
27		都市間交流推進	684		友好都市協定を締結した東京都荒川区、交流都市山口市などの物産や観光を通じた交流により、本市のさらなる魅力発信、関係人口の拡大に取り組みます。	政策調整部
28		出会いの場創出	5,409		ライフサポーター、マリッジサポーターによる出会い・結婚相談に加え、出会いの場の提供や、セミナー・個別レッスンを実施します。	市民・文化スポーツ部
29	新規	ふくしま縁結び応援	2,000		市主催婚活イベントの催行規模を拡充し、出会いの機会の充実を図ります。	市民・文化スポーツ部
30		結婚等新生活支援	45,000		新婚世帯等の住宅の取得や貸借費用等の一部を補助します。	市民・文化スポーツ部
31		移住コーディネーターの配置	5,091		多様化する移住希望者のニーズに対応した移住相談、関係機関や団体とのマッチング、移住後のフォローなどを行う移住コーディネーターを配置します。	市民・文化スポーツ部
32		UIJターン移住支援	35,700		東京23区の在住者等が本市へ移住し、県のマッチングサイトに掲載の中小企業へ就職した場合等に、補助金を交付します。	市民・文化スポーツ部
33		移住新生活応援	1,434		移住応援サポーターによる相談を実施します。 また、継続的な移住相談など市の支援メニューを活用した移住者へ、特典として湯めぐりパスポートを贈呈します。	市民・文化スポーツ部
34		ふくしま定住推進	1,234		首都圏などで開催される移住フェア等への出展や、民泊施設を活用したお試し移住を支援します。	市民・文化スポーツ部
35	拡充	移住定住広報推進	3,126		移住応援サイトの充実を図るほか、移住関連情報をより多くの方に、また、より必要とする方に届けるため、Web広告を活用した効果的な情報発信を行います。 また、R8は移住公式LINEの配信強化を図ります。	市民・文化スポーツ部
36		地域活性化起業人の活用	3,933		総務省の制度を利用して、新たに外部のデジタル人材を受け入れ、本市のデジタル化を推進します。	政策調整部

◆2款 総務費

No.	新規 拡充	事業名	予算額 (千円)	うち補正 前倒し分	説明	担当部
37		基幹GIS推進	4,646		地番図や市道網図、各ハザードマップ等をふくしまeマップで公開し、市民サービスの向上を図ります。	政策調整部
38		ICTによる業務効率化	2,378		AI-OCR(紙からのデータ起こし)、音声自動文字起こしシステムを活用し、業務効率化を図ります。	政策調整部
39		文書生成AIの活用	1,320		庁内の業務効率化や新たなアイデア創出のため、文書生成AIの更なる活用を図ります。	政策調整部
40		市公式LINEの運用	5,094		市公式LINEアカウントで各種相談・講座の予約や市政情報発信を行います。	政策調整部
41	新規	市公式LINEサービスの充実	3,762		市公式LINEに、LINE上の手続きで完結できるサービスやAIチャットボットを導入し、メニューを充実させることで、市民サービスの利便性向上を図ります。	政策調整部
42		地域全体のデジタル推進	460		「デジタル人材バンク」の活用促進やDX推進の取組を情報発信することにより、「行政のデジタル化」と「地域のデジタル化」の双方を推進します。	政策調整部
43		高齢者にもやさしいデジタル化推進	434		シニアICTサポーターの地域活動を促進し、市民共創で高齢者にもやさしいデジタル化を推進します。	政策調整部
44		ふくしまデジタルイノベーション アワード事業	500		デジタル技術やAIを活用した市内事業者が実践しているビジネスの革新への取組、市民や学生による地域活性化のアイデアなどを表彰・支援し、本市のデジタル化を推進します。	政策調整部
45	拡充	公共施設予約システムの運用	55,105		公共施設のオンライン予約システムを運用するとともに、R8においては、システム更新にあわせ、利用環境や操作性を改善することにより、利便性向上を図ります。	政策調整部
46		公共施設照明LED化推進	37,660		支所の照明をLEDに順次更新します。(R8:渡利支所、吾妻支所)	財務部
47	新規	禁止区域での迷惑な客引き行為防止対策	1,411		禁止区域における迷惑な客引き行為等を防止するため、福島駅前繁華街での巡回や啓発を実施します。	市民・文化スポーツ部
48		交通安全教育の推進	752		幼児から高齢者まで幅広い年齢層を対象に、交通安全教室等を開催します。	市民・文化スポーツ部

◆2款 総務費

No.	新規 拡充	事業名	予算額 (千円)	うち補正 前倒し分	説明	担当部
49		通学路等安全対策	337		小・中学校の通学路等の危険箇所について、関係機関等との合同点検に基づき、交通安全施設を整備します。	市民・文化スポーツ部
50		犯罪被害者等支援	1,174		犯罪被害者等が被害後に必要とする費用を補うため、犯罪被害者等見舞金等を支給します。(最大60万円)	市民・文化スポーツ部
51		市民会館の解体	56,000		市民会館の身近な機能を市民センターに統合・複合化して廃止した市民会館を解体します。 R6～R8継続費 全体事業費800,000千円	市民・文化スポーツ部
52		男女共同参画の啓発	500		「ふくしまさんかく通信」の発信や「あなたからのメッセージ」募集を通して、男女共同参画意識の啓発を図ります。	総務部
53		女性の起業チャレンジ応援	545		起業にチャレンジしたい女性を対象に講座や起業体験の場を提供し、起業まで継続的にサポートします。	総務部
54		ジェンダー平等の推進	300		女性が抱える身体的・精神的・経済的負担を軽減するため、公共施設に生理用品を設置します。	総務部
55	拡充	地域おこし協力隊の活用	64,228		市内に配置した地域おこし協力隊の活動をサポートし、各地域の活性化を図ります。 (R7:6地区7人 ⇒ R8:8地区11人)	政策調整部
56		地域コミュニティ等の支援	17,580		地域の裁量で活用できるまちづくり交付金を交付するほか、地域ごとの主体的な取組にかかる経費の一部を補助します。	政策調整部
57		地域生活基盤整備	150,000		自治振興協議会からの提案に基づき、道路側溝や交通安全施設等の生活基盤を整備します。	建設部
58		電子町内会の推進	605		電子メールやウェブサイトを活用した電子町内会を支援し、情報伝達のデジタル化・迅速化を図ります。(R7:47町内会で活用)	政策調整部
59		UFOの里づくり	4,500		本市ならではのカラーコンテンツであるUFO関連事業の取組を推進します。	政策調整部
60		窓口キャッシュレス決済	284		窓口手数料のキャッシュレス決済を促進し、市民サービスの向上を目指します。	財務部

◆2款 総務費

No.	新規 拡充	事業名	予算額 (千円)	うち補正 前倒し分	説明	担当部
61		オンライン申請推進	193		来庁せずに各種証明書を受け取れるよう、マイナンバーカードを利用して、オンラインで申請・決済を可能にします。	財務部
62	新規	軽自動車税納付状況確認システムの導入	627		車検事業者等が軽自動車税の納付状況をオンラインで確認できるシステムを導入します。	財務部
63		GISを活用した土地・家屋管理システムの運用	32,624		効率的な課税客体把握のため、GIS(地理情報システム)を活用します。	財務部
64	新規	システムの標準化とガバメントクラウドの運用	8,375		標準化された住民記録、税、福祉などの業務システムをガバメントクラウド上で運用します。	財務部
65		オンライン申請推進	814		来庁せずに各種証明書を受け取れるよう、マイナンバーカードを利用して、オンラインで申請・決済を可能にします。	市民・文化スポーツ部
66		おくやみ窓口の運営	584		各種届出を一括して取り扱うことで、市民が「待たない」「書かない」「動かない」窓口の運営をします。	市民・文化スポーツ部
67		窓口キャッシュレス決済	4,406		窓口手数料のキャッシュレス決済を促進し、市民サービスの向上を目指します。	市民・文化スポーツ部
68	拡充	マイナンバーカード交付	227,092		マイナンバーカードの更新増加等に対応するため、R8は申請受付や交付事務に係る体制を強化します。	市民・文化スポーツ部
69	拡充	窓口DX推進	34,895		老朽化した施設の改修などを行います。 R8は、誠電社WINDYスタジアムの第3種陸上競技場としての公認を更新するための改修工事や、インテックテニスガーデンの人工芝張替工事などを実施します。	市民・文化スポーツ部

◆3款 民生費

No.	新規 拡充	事業名	予算額 (千円)	うち補正 前倒し分	説明	担当部
1		心のバリアフリーの推進	3,050		心のバリアフリーの浸透を図るため、心のバリアフリー推進隊による普及啓発や心のバリアフリー出前講座等を実施します。	健康福祉部
2		いきいき！ふくしマーケット	2,400		就労系障がい福祉事業所と企業のマッチングの支援(「ふくしま圏域いきいき！ふくしEXPO」の開催)のほか、商品開発・マーケティング講座・研修会の開催を支援し、障がい者就労施設で作られた商品の販売機会創出、商品価値の向上に取り組めます。	健康福祉部
3		ヘルプマーク・ヘルプカードの普及推進	189		外見から分からなくても援助や配慮を必要としている方が支援を得やすくなるよう、普及啓発を行います。	健康福祉部
4		包括的支援体制の整備	37,844		複雑・複合的な生活課題を抱える方を行政と支援機関が連携して支援する体制を構築し、対象者のニーズに対応した支援を実施します。	健康福祉部
5	新規	住民税非課税世帯生活支援特別給付金	498,000	498,000	物価高騰に直面する市民生活を支援するため、住民税非課税世帯に対し給付金を給付します。	健康福祉部
6	拡充	障がい福祉サービス	6,354,440		障がい者の自立、日常生活や社会参加の支援を行うため、令和7年度10月より開始した就労選択支援をはじめ、居宅介護や生活介護等の事業を実施します。	健康福祉部
7		自立支援医療	228,227		障がい児・者の心身の障がいを除去・軽減する医療費の自己負担額を軽減します。	健康福祉部
8	拡充	障がい者の相談支援	66,536		全ての障がい種別(身体、知的、精神)に対応可能な相談窓口(5箇所)と、障がい児に対応した相談窓口(R7:1箇所→R8:2箇所)を設置します。	健康福祉部
9		手話言語条例関連	6,345		手話出前講座の開催や、手話奉仕員養成講座等を実施します。	健康福祉部
10	拡充	日常生活用具給付	77,152		R8より、給付対象品目に、人工内耳システム用充電式電池及び充電器を加え、人工内耳システム装用者の負担軽減を図ります。	健康福祉部
11		地域生活支援拠点の整備	5,995		障がい者の重度化・高齢化や「親亡き後」を見据え、住み慣れた地域で安心して生活できるよう、障がい者と家族を地域全体で支援します。	健康福祉部
12	新規	地域包括ケアシステムの構築推進(精神障害)	133		精神障害にも対応した地域包括ケアシステム構築に向けて、関係機関及び庁内関係課の連携体制強化を図ります。	健康福祉部

◆3款 民生費

No.	新規 拡充	事業名	予算額 (千円)	うち補正 前倒し分	説明	担当部
13		避難行動要支援者の支援(障がい者)	669		災害時に要支援者の避難行動を地域で支援するため、対象者名簿の整備、個別避難支援プランの作成を進めます。	健康福祉部
14		行政手続案内システムの運用	396		スマートフォン等から簡単な質問に答えるだけで、個人の状況に応じた手続やサービスの案内ができるシステムを運用します。	健康福祉部
15		重度心身障がい者医療費の助成	691,172		重度心身障がい者の医療費の一部負担金を助成します。	健康福祉部
16	新規	わたりふれあいセンター・渡利児童センターLED化推進	4,400		館内の非常用照明をLEDに更新します。	健康福祉部
17	新規	高齢者福祉施設LED化推進	396		南沢又デイサービスセンターの厨房照明をLEDに更新します。	健康福祉部
18		介護資格取得支援	4,588		介護職員初任者研修等の費用を助成します。(研修費用の10割補助)	健康福祉部
19	拡充	介護分野への参入促進	3,160		元気高齢者を対象としたセミナー、個別相談会の開催により、元気高齢者の介護分野への参入を支援します。また、R8は若い世代を対象として、ポスターコンクールやSNSによる動画配信を実施し、介護職・介護現場の魅力と重要性を発信します。	健康福祉部
20	拡充	福祉人材定着・離職防止	3,724		事業所に勤務する介護職を対象に、若手・中堅・管理者といった階層別の研修を実施します。また、R8は事業所がカスタマーハラスメント対策に活用できるポスターとリーフレットを作成します。	健康福祉部
21		シルバー人材センター運営費補助	11,704		シルバー人材センターの運営費用の一部を補助し、その活動を支援します。	健康福祉部
22		軽費老人ホーム事務費補助	213,355		入所者の経済的負担の軽減を図るため、運営法人に対して事務費の一部を補助します。(9施設)	健康福祉部
23	新規	高齢者福祉施設大規模修繕補助	30,000		養護老人ホームや特別養護老人ホームの大規模修繕にかかる経費の一部を補助します。(補助率3/4)	健康福祉部
24		老人クラブの育成支援	7,396		老人クラブの活動費用の一部を補助し、その活動を支援します。	健康福祉部

◆3款 民生費

No.	新規 拡充	事業名	予算額 (千円)	うち補正 前倒し分	説明	担当部
25		避難行動要支援者の支援(高齢者)	23,412		災害時に要支援者の避難行動を地域で支援するため、対象者名簿の整備、個別避難支援プランの作成を進めます。	健康福祉部
26		権利擁護支援	18,319		高齢者や障がい者、その家族からの成年後見制度利用や権利擁護に関する相談受付、支援を行うため、「福島市権利擁護センター」を運営します。 また、広報や相談、市民後見人の養成等を通し、成年後見制度の利用促進に取り組みます。	健康福祉部
27		高齢者への公共交通利用助成	308,628		シルバーパスポート制度により、高齢者の公共交通利用を支援します。	都市政策部
28		いきいきももりん体操講座	880		高齢者の通いの場を創出し、フレイル予防により元気に過ごせるよう、いきいきももりん体操・お口のももりん体操取組団体の立ち上げや活動の継続を支援します。	健康福祉部
29		地域包括ケアシステムの推進	406,864		高齢者等の総合相談窓口である「地域包括支援センター」(22箇所)を運営します。 また、認知症高齢者等やその家族と地域や関係職種の連携を推進する「認知症地域支援推進員」や、地域住民らと地域における支え合いの取組を推進する「地域支え合い推進員」を各センターに配置します。	健康福祉部
30		敬老会の開催	25,116		市内27地区において敬老会を開催します。	健康福祉部
31		敬老祝金	24,835		88歳時に5千円、100歳時に10万円の祝金を支給します。	健康福祉部
32	新規	介護予防のためのeスポーツ体験会	793		高齢者の生きがいづくり、フレイル予防として、eスポーツ体験会や出前講座を実施します。	健康福祉部
33		幼児教育・保育施設認定等事業	19,612		幼児教育・保育施設に係る認定等に関する事務処理のための会計年度任用職員を5人配置します。	こども未来部
34		児童福祉施設等補助金	148,090		私立保育所、認定こども園、地域型保育施設、新制度移行幼稚園に対して運営費を補助します。	こども未来部
35		子育て世帯・ヤングケアラー訪問支援事業	1,611		育児負担、不安を抱えている家庭やヤングケアラー等がいる家庭を訪問支援員が訪問し家庭が抱える不安や悩みを傾聴するとともに、家事・育児等の支援を実施することで家庭の負担軽減を図ります。	こども未来部
36		女性の相談支援	8,730		配偶者等からの暴力や離婚等について、女性からの相談に対応するため、女性相談支援員を配置するほか、支援調整会議を開催し、関係機関との連携強化を図ります。	こども未来部

◆3款 民生費

No.	新規 拡充	事業名	予算額 (千円)	うち補正 前倒し分	説明	担当部
37		放課後児童健全育成事業	1,054,195		放課後児童クラブを運営します。(R7:98クラブ⇒R8:98クラブ)	こども未来部
38		放課後児童クラブ家賃補助事業	24,942		家賃の一部を補助し、放課後児童クラブの運営費用の負担軽減を図ります。(R7:60クラブ⇒R8:58クラブ)	こども未来部
39		放課後児童支援員等処遇改善等事業	227,907		放課後児童クラブの質の向上を図るため、支援員等の処遇改善措置に対して補助します。	こども未来部
40		放課後児童クラブ利用料助成事業	47,448		高校生年代以下のこどもが2人以上いる世帯に対し、第2子以降の放課後児童クラブ利用料を軽減します。また、低所得世帯においては、第1子の放課後児童クラブ利用料を助成します。	こども未来部
41		放課後児童クラブ育成支援体制強化事業	10,143		放課後児童クラブの労務事務や会計事務等にかかる外部委託費用の一部を補助し、保育に専念できる環境づくりを支援します。(補助率1/2、上限30万円)	こども未来部
42		放課後児童クラブ巡回支援指導事業	411		市が委嘱した放課後児童クラブ巡回支援アドバイザーが市内の各クラブを巡回し、放課後児童クラブに対する支援体制の強化、質の向上を図ります。	こども未来部
43		病児・緊急対応強化事業(ファミリーサポート事業)	17,500		病児・病後児や深夜・早朝、宿泊を伴う緊急預かりを実施します。	こども未来部
44	拡充	こども家庭センターの運営	40,888		妊娠期から子育て期のワンストップ相談窓口として、保健師・助産師等が切れ目のない相談支援を行います。また、専門職員を配置し、児童虐待に関する相談支援体制を強化します。(8名) また、R8は離乳食動画を作成します。	こども未来部
45		子育てコーディネーター配置等事業	4,199		子育てコーディネーターを配置し、子育てに関する総合的な情報提供や相談支援を行います。	こども未来部
46		地域子育て支援拠点事業	255,543		地域子育て支援センター(23箇所)を運営し、地域における子育て相談や子育て情報を提供します。	こども未来部
47		福島型給食推進事業による軽減事業	7,256		市産食材の使用により地産地消を推進するとともに、子育て世帯の保育料負担を軽減します。	こども未来部
48		2020多子世帯軽減事業	46,899		多子世帯における保育料負担を軽減します。	こども未来部

◆3款 民生費

No.	新規 拡充	事業名	予算額 (千円)	うち補正 前倒し分	説明	担当部
49		認可外保育施設多子世帯保育料軽減事業	2,261		満18歳未満のこどもが3人以上いる世帯に対し、第3子以降の認可外保育施設利用料の一部を補助します。	こども未来部
50		公立保育所会計年度任用職員費	641,755		公立保育所において保育を実施します。	こども未来部
51		市立認定こども園会計年度任用職員費	212,472		市立認定こども園において保育を実施します。	こども未来部
52		公立保育所嘱託医等報酬	1,117		公立保育所において健診を実施します。	こども未来部
53		公立保育所運営費	143,324		公立保育所において保育を実施します。	こども未来部
54		公立保育所運営費(医療的ケア児受入)	3,950		公立保育施設において、医療的ケアを必要とする児童を安全に受け入れるための体制を整備します。	こども未来部
55		一時預かり事業	353		公立保育所において一時預かり事業を実施します。	こども未来部
56		公立保育施設環境改善事業	30,000		公立保育所と認定こども園の空調設備更新及びLED化工事を行い、熱中症対策と設備の省エネ化を進めます。	こども未来部
57		公立保育施設ICT推進事業	14,322		公立保育施設において保育業務支援システムを活用し、保護者の利便性の向上、保育士の負担軽減を図ります。	こども未来部
58		市立認定こども園嘱託医等報酬	721		市立認定こども園において健診を実施します。	こども未来部
59		市立認定こども園運営費	90,780		市立認定こども園において保育を実施します。	こども未来部
60		休日保育事業	682		市立認定こども園において休日保育を実施します。	こども未来部

◆3款 民生費

No.	新規 拡充	事業名	予算額 (千円)	うち補正 前倒し分	説明	担当部
61	新規	もりあい認定こども園会計年度 任用職員費	67,557		R8開園のもりあい認定こども園において保育士等を任用します。	こども未来部
62	新規	もりあい認定こども園嘱託医等 報酬	205		R8開園のもりあい認定こども園において健診を実施します。	こども未来部
63	新規	もりあい認定こども園運営費	19,337		R8開園のもりあい認定こども園運営費です。	こども未来部
64	新規	もりあい認定こども園給食材料 費(主食)	1,131		R8開園のもりあい認定こども園の主食材料費です。	こども未来部
65	新規	もりあい認定こども園病児・病 後児保育事業	490		R8開園のもりあい認定こども園において病児・病後児保育を実施します。	こども未来部
66		保育実施	4,340,194		私立保育所において保育を実施します。	こども未来部
67		延長保育促進事業(保育所)	57,359		私立保育所において延長保育を実施します。	こども未来部
68		一時預かり事業(保育所)	44,294		私立保育所において一時預かり事業を実施します。	こども未来部
69		休日保育事業	10,478		老朽化した施設の改修などを行います。 R8は、誠電社WINDYスタジアムの第3種陸上競技場としての 公認を更新するための改修工事や、インテックテニスガーデン の人工芝張替工事などを実施します。	こども未来部
70		障がい児保育事業(保育所)	29,126		障がい児を受け入れている施設に対し、費用の一部を助成しま す。	こども未来部
71		体調不良児対応型・病児病後児 保育事業(保育所)	32,962		私立保育所において病児保育(体調不良児対応型)を実施しま す。	こども未来部
72		私立認定こども園給付費	2,486,090		私立認定こども園において教育・保育を実施します。	こども未来部

◆3款 民生費

No.	新規 拡充	事業名	予算額 (千円)	うち補正 前倒し分	説明	担当部
73		延長保育促進事業(認定こども園)	30,408		私立認定こども園において延長保育を実施します。	こども未来部
74		一時預かり事業(認定こども園)	34,172		私立認定こども園において一時預かり事業を実施します。	こども未来部
75		障がい児保育事業(認定こども園)	9,709		障がい児を受け入れている施設に対し、費用の一部を助成します。	こども未来部
76		体調不良児対応型・病児病後児保育事業(認定こども園)	32,366		私立認定こども園において病児保育(体調不良児対応型)を実施します。	こども未来部
77		私立幼稚園給付費	29,391		新制度移行幼稚園に給付費を支給します。	こども未来部
78		一時預かり事業(幼稚園)	13,657		私立幼稚園において一時預かり事業を実施します。	こども未来部
79		私立幼稚園等利用給付	289,641		「幼児教育・保育の無償化」により、保護者の施設等の利用に係る費用負担を軽減します。	こども未来部
80		私立幼稚園等預かり保育利用給付	39,063		「幼児教育・保育の無償化」により、保護者の施設等の利用に係る費用負担を軽減します。	こども未来部
81		地域型保育施設給付費	979,339		地域型保育施設において保育を実施します。	こども未来部
82		延長保育促進事業(地域型保育施設)	7,077		地域型保育施設において延長保育を実施します。	こども未来部
83		認可外保育施設等利用給付	32,916		「幼児教育・保育の無償化」により、保護者の施設等の利用に係る費用負担を軽減します。	こども未来部
84		病児・病後児保育事業	33,796		病気や回復期において、普段利用している施設が利用できない場合に一時的に保育する病児・病後児保育を2施設で実施します。	こども未来部

◆3款 民生費

No.	新規 拡充	事業名	予算額 (千円)	うち補正 前倒し分	説明	担当部
85	新規	児童福祉施設等整備事業	51,288		私立幼稚園の認定こども園移行に向けた施設整備費用の一部を補助します。	こども未来部
86		私立幼稚園預かり保育支援事業	4,010		私立幼稚園が行う長時間の預かり保育実施にかかる保育士等の雇用に必要な費用の一部を補助します。	こども未来部
87		幼稚園送迎ステーション事業	13,190		私立幼稚園の開園時間前後に預かり保育を行う「送迎ステーション」を運営します。	こども未来部
88		保育士宿舍借り上げ支援事業	18,000		雇用する保育士の宿舍を借り上げる保育施設(20施設)に対し、費用の一部を補助します。	こども未来部
89		保育支援員雇用支援事業	50,000		保育士の業務をサポートする支援員を雇用する保育施設(47施設)に対し、費用の一部を補助します。	こども未来部
90		保育士等奨学資金貸付事業	25,600		保育士や幼稚園教諭を目指す学生に対し、就学に必要な資金の一部を無利子で貸し付けます。	こども未来部
91		保育人材活躍促進事業	662		実地研修や1日保育士体験、就職相談会の開催により、保育施設での就労を希望する方を支援します。	こども未来部
92		保育士するなら福島市！プロモーション事業	96		保育士養成校と連携した就職セミナーや高校生等の保育士1日体験を実施します。	こども未来部
93		保育士相談支援事業	5,069		本市独自の保育人材バンクの活用による保育人材を確保します。また、保育士相談窓口を設置し、就労条件や職場環境改善へ向けた支援を行います。	こども未来部
94		保育士の働きやすい職場づくり事業	801		各施設で取り組んでいる好事例を広報することで市全体の保育職場の環境改善を図るほか、トップセミナーやマネジメント研修を行います。	こども未来部
95		保育アテンダント事業	8,494		保育施設等の利用を希望する保護者の相談に応える専任相談員(2名)を配置し、保護者のニーズに寄り添ったよりきめ細やかなマッチングを進めます。	こども未来部
96		福島型給食推進事業	67,200		市産食材の使用により地産地消を推進するとともに、子育て世帯の負担を軽減します。	こども未来部

◆3款 民生費

No.	新規 拡充	事業名	予算額 (千円)	うち補正 前倒し分	説明	担当部
97		巡回支援指導事業	5,363		安全対策に関する助言や指導、園外活動に係る安全確保を図るための巡回支援指導を実施します。	こども未来部
98		キッズガード雇用支援事業	5,940		散歩等の園外活動時において児童の安全管理を図るための支援員を雇用する費用の一部を助成します。	こども未来部
99		こどもの見守り安全対策事業	3,299		ICTを活用しこどもの安全確保と公立施設職員の負担を軽減します。	こども未来部
100		保育環境改善等事業	2,700		性被害防止対策を実施します。	こども未来部
101		保育の質向上事業	122		「福島市保育の質ガイドライン」を踏まえた研修会を実施するとともに、保育施設間における公開保育や人材交流を行い、保育の質の向上を図ります。	こども未来部
102	新規	こども誰でも通園制度実施事業 (もりあい認定こども園)	564		保育所等に通園していない0歳6か月～満3歳未満のこどもが、月一定時間まで通園できる、乳児等通園支援事業を実施します。	こども未来部
103		こども誰でも通園制度実施事業 (私立施設)	9,584		保育所等に通園していない0歳6か月～満3歳未満のこどもが、月一定時間まで通園できる、乳児等通園支援事業を実施します。	こども未来部
104		ひとり親家庭自立支援事業	12,654		ひとり親家庭の自立促進と生活安定を図るため、資格取得費用等の一部を助成します。	こども未来部
105		妊婦のための支援給付事業	145,260		安心して出産・子育てができるよう、伴走型相談支援である妊婦等包括相談支援事業と組み合わせた経済的支援として、妊婦を対象とした給付金を支給します。(1回目:妊婦1人あたり5万円)(2回目:こども1人あたり5万円)	こども未来部
106		子育て短期支援事業	1,592		病気や仕事等で一時的に子育てが困難となった場合、児童養護施設や母子生活支援施設、里親等による一時預かりを実施します。	こども未来部
107		子ども医療費の助成	1,266,515		18歳までのこどもの医療費の一部負担金や入院時食事療養費を助成します。	健康福祉部
108		医療的ケア児の在宅支援	3,600		医療的ケア児に対し、訪問看護事業者の看護師による自宅での医療的ケア、介護、見守り等を行い、家族の休息時間を確保し、介護負担の軽減を図ります。	健康福祉部

◆3款 民生費

No.	新規 拡充	事業名	予算額 (千円)	うち補正 前倒し分	説明	担当部
109		保育所給食まるごと検査事業	1,572		安全安心な給食の提供のため、保育施設で使用する食材のモニタリング検査を実施します。	こども未来部
110		子どもの居場所づくり支援事業	5,200		「子どもの居場所づくりバックアップ本部」を運営し、子ども食堂によるこどもの居場所づくり活動を支援します。また、市内企業・団体等のフードドライブ活動を推進し、子ども食堂の運営支援を行います。	こども未来部
111		ユースプレイス自立支援事業	3,400		若者の居場所を設置し、ひきこもり等様々な困難を抱える若者の自立と社会参加を支援します。	こども未来部
112	新規	AI搭載型データベース検索エンジンの導入	2,376		生活保護法令、国通知文、生活保護手帳などのAI搭載型データベース検索エンジンを導入し、事務の効率化と職員の負担軽減を図ります。	健康福祉部
113		子どもの学習・生活支援	2,927		学習環境が整わない生活困窮世帯の中学生を対象に、大学生の協力も得ながら、学習支援員による学びの機会・場所を提供します。	健康福祉部
114		就労準備支援	460		直ちに就労が困難な方の自立を支援するため、一般就労へ向けた基礎的能力を養う支援を行います。	健康福祉部

◆4款 衛生費

No.	新規 拡充	事業名	予算額 (千円)	うち補正 前倒し分	説明	担当部
1		地域医療確保対策	377,630		平日夜間、土日祝日及び年末年始における二次救急医療体制を確保するため、救急告示病院等に対し運営費用を補助します。 また、医師の確保対策等により地域の医療の確保に取り組みます。	健康福祉部
2		福島県立医科大学との連携(奇附講座)	60,000		市内の二次救急医療機関に福島県立医科大学の医師を派遣し、実地研修や研修医を対象とした研修会を実施することにより、地域救急医療体制の基盤強化を図ります。	健康福祉部
3	拡充	子どもの医療確保対策	16,658		夜間休日急病センターを活用した休日小児科の開設やオンライン診療(GW・シルバーウィーク(R8より)・年末年始等)などにより、小児医療体制の充実を図ります。	健康福祉部
4		若年がん患者終末期在宅療養支援	500		若年がん患者が終末期を住み慣れた自宅等で自分らしく過ごせるよう、在宅での介護サービス利用料の一部を補助します。	健康福祉部
5		休日在宅当番医制の運営	4,610		休日における一次救急医療体制を確保するため、日・祝日、年末年始の昼間に医療機関が当番制により診療を行います。	健康福祉部
6		地域健康危機管理体制の推進	360		災害時や感染症等の健康危機が生じた場合に迅速かつ適切に対応できるよう、対応マニュアルの定期的な見直しや専門研修を実施します。	健康福祉部
7	新規	難病ガイドブックの作成	868		難病についての理解を深め、適正な医療・診断へとつなげるため、難病の概要や利用できるサービス、相談窓口等の情報を分かりやすく掲載した市独自のガイドブックを作成し、配布します。	健康福祉部
8	拡充	感染症対策の推進	764		感染症危機への平時からの備えのさらなる強化へ向け、医療機関や介護施設等と連携して各種研修・訓練を実施します。また、R8は、感染症危機発生の際に現場でリーダーシップを発揮し、的確な判断と調整を行える保健所職員育成のため、国のリーダーシップ研修へ職員を派遣します。	健康福祉部
9	拡充	動物との共生	19,550		飼い主のいない猫の不妊・去勢手術費用の一部助成について、R8より対象の診療施設の範囲を市外に広げて実施するほか、しつけ方教室の開催、動物愛護ボランティアの活動などにより動物と共生できるまちづくりを目指します。	健康福祉部
10		小児慢性特定疾病対策等事業	76,389		小児慢性特定疾病の医療費助成や日常生活用具の給付、自立支援事業等を実施するほか、県外指定医療機関への通院交通費の一部を助成します。	こども未来部
11		妊産婦健診事業	182,967		妊婦健診15回と産婦健診2回の費用を助成します。また、多胎妊娠の方を対象に、追加の妊婦健診費用を助成します。	こども未来部
12		プレママ・パパ支援事業	365		妊娠期から子育てについて思い描き、新しい家族を迎える準備ができるよう、プレママ・パパ教室を実施します。	こども未来部

◆4款 衛生費

No.	新規 拡充	事業名	予算額 (千円)	うち補正 前倒し分	説明	担当部
13		妊婦等包括相談支援事業	8,206		安心して出産・子育てができるよう、妊娠時、妊娠8か月時(希望者)、出産後に面談を実施し、伴走型支援を行います。	こども未来部
14		新生児聴覚検査事業	10,565		新生児に対し、先天性聴覚障がい検査費用を助成します。	こども未来部
15		こんにちは赤ちゃん訪問	2,442		「こんにちは赤ちゃん応援隊」と保健師等が連携して生後4か月頃の乳児がいるすべての家庭を訪問し、地域と親をつなぐことにより子育ての孤立化を防ぎ、親子の成長を温かく見守り続ける地域づくりを推進します。	健康福祉部
16		産後ケア事業	20,000		産婦が安心して子育てができるよう、ショートステイやデイケアによる支援を実施します。	こども未来部
17		産前・産後サポート事業	1,717		葉酸サプリ配布による健やかな妊娠生活への支援や、妊産婦の孤立感や不安の解消を図るため、研修を受けた子育て経験者による寄り添い型ボランティア活動「ホームスタート」を実施します。	こども未来部
18	拡充	母子保健スマート窓口推進事業	11,604		妊娠届出、妊娠8か月のアンケート、1歳6か月、3歳児健診の予約に加え、1歳6か月、3歳、5歳児健診(R8より)の問診票・健診記録を電子化し、手続等の負担軽減、DXによる妊産婦等への支援体制の強化を図ります。	こども未来部
19	新規	生殖補助医療交通費助成事業	1,368		生殖補助医療のため遠方の医療機関へ通院する方の経済的負担を軽減します。	こども未来部
20	拡充	乳幼児健診事業	39,311		こどもの疾病や発育発達の遅れ等を早期発見し、健やかな成長を促すため、1か月、4か月、10か月、1歳6か月、3歳児の乳幼児健診や発達相談、5歳児健診(R8より)を行います。	こども未来部
21		放射線からの健康管理	49,896		内部・外部被ばく検査や出前講座、個別相談等を行います。	健康福祉部
22		歯と口腔の健康づくり	376		「福島市歯と口腔の健康づくり推進条例」に基づき、総合的かつ効果的に歯と口腔の健康づくりを推進します。	健康福祉部
23		子どものむし歯予防対策	1,338		保育施設や幼稚園、小学校等(67施設)でフッ化物洗口を実施します。	健康福祉部
24		食育の推進	2,648		「第3次福島市食育推進計画」に基づき、市民の「食」を選択し実践する力=「食力」が身につくよう、家庭や地域等における食育を推進します。また、「適しお」の推進により健康的な食環境づくりに取り組みます。	健康福祉部

◆4款 衛生費

No.	新規 拡充	事業名	予算額 (千円)	うち補正 前倒し分	説明	担当部
25		受動喫煙対策	8,284		「福島市受動喫煙防止条例」に基づき、受動喫煙防止重点区域内で指導員による巡回指導や福島駅東口および西口指定喫煙所の維持管理を行うなど、受動喫煙防止を推進します。	健康福祉部
26		地域の健康づくり	2,092		地域の健康課題について学習会等を実施するほか、地区組織や団体、関係機関とのネットワークをつくり、地域ぐるみの健康づくりを進めます。 また、地域の健康づくり推進組織の設置や運営を支援し、主体的な取組に対し補助金を交付します。	健康福祉部
27		職域の健康づくり	360		職場の健康づくり推進委員会を設置し、働く世代の健診の受診率向上や職場の健康づくりを推進します。また、職場での健康講座を実施します。	健康福祉部
28		生活習慣病重症化予防対策	146		市民を対象とした講演会を開催するほか、関係機関と協力し効果的な対策について検討を進めます。	健康福祉部
29		地域母子健康づくりの推進	119		安心して子育てができ、子どもが健やかに育つよう、育児相談会等での健康教育の実施や、地域の子育てネットワークづくりを推進します。	健康福祉部
30	拡充	健康づくりの推進	3,373		「ふくしまし健康づくりプラン2024」に基づき、R8に県がリニューアルする「ふくしま健民アプリ」を活用した、市独自のポイント事業を実施するなど、地域ぐるみの健康の維持増進を図ります。	健康福祉部
31	拡充	一般健康診査	207,180		後期高齢者健診、肝炎ウイルス検診を実施し、早期発見・治療により健康寿命の延伸を図ります。また、R8よりクレアチニン検査の対象者を拡大します。	健康福祉部
32		がん検診の推進	667,393		がん検診自己負担の一部無料化やがんに関する知識の普及啓発を推進し、検診受診率の向上を図り、がんの早期発見・早期治療を目指します。	健康福祉部
33	拡充	後期高齢者保健事業	13,345		75歳以上高齢者の健康寿命の延伸と介護予防のため、健診データ等を活用した管理栄養士、保健師、歯科衛生士(R8より雇用予定)による保健指導等を実施します。	健康福祉部
34	拡充	定期予防接種の推進	947,719		子どもや高齢者などを対象に、予防接種法に基づく定期接種を実施します。また、R8より、妊婦にワクチンを接種して胎児に抗体を移行させることで、出生から早期の子どもを感染症から守るRSウイルス母子免疫ワクチンの接種を開始します。	健康福祉部
35		任意予防接種助成	11,311		妊娠を希望する女性やその同居者等の風しん予防接種、また、1歳児のおたふくかぜ予防接種など、定期予防接種以外で予防効果が高いワクチンの接種等費用を助成します。	健康福祉部
36	拡充	ごみ集積所適正管理の推進	1,000		ごみ集積所設置費用やごみ散乱防止ネット(折り畳み式ネットボックス含む)購入費用の一部を補助します。また、R8は、カラス被害対策のため、折り畳み式ネットボックスを重点的に支援します。	環境部

◆4款 衛生費

No.	新規 拡充	事業名	予算額 (千円)	うち補正 前倒し分	説明	担当部
37		ムクドリ・カラス対策	1,167		特殊なLED照明や音声再生装置による追い払いを行い、ねぐら化を 방지、中心市街地のファン被害軽減を図ります。	環境部
38		特定外来生物駆除	218		生態系の維持・保全を図るため、アライグマやアメリカミンクなどの特定外来生物を駆除します。	環境部
39		環境教育の推進	2,039		地球温暖化防止に向けた普及啓発のためのイベントや出前講座、市内小学生高学年を対象とした環境教室等を実施します	環境部
40		地域共生型再エネの推進	533		地域と共生する再生可能エネルギーについて情報発信や普及啓発を行います。	環境部
41		水素社会実現の推進	509		水素社会実現に向けた普及啓発イベントを実施します。また、燃料電池自動車(FCV)の普及啓発のため、購入費用の一部を支援します。	環境部
42		脱炭素住宅整備促進	35,000		家庭の脱炭素化を推進するため、太陽光発電システムや蓄電池等の設置費用の一部を助成します。	環境部
43	新規	脱炭素・循環共生型社会の推進	91		脱炭素化や資源循環をテーマとしたセミナー等を開催します。	環境部
44		再エネ発電施設対策	1,000		再エネ発電施設が適正に維持管理され、市民の生命・財産や豊かな環境が守られるよう、現地調査や発電事業者への適切な指導等を実施します。	環境部
45		環境放射線量の測定	4,619		市内の公共施設等の環境放射線量を定期的に測定し公表します。 (公共施設等158箇所)	環境部
46		放射線量マップの作成	11,072		「全市放射線量測定マップ」を作成し、放射線量の推移や現在の状況を公表します。	環境部
47		農産物・食品等放射能測定	33,286		市内5箇所の測定所において、自家消費野菜等の放射能測定を実施します。	環境部
48		東北大学連携放射能測定	791		東北大学と連携し、専門的助言を得ながら、測定データの分析を行い、安定的な測定体制を確保します。	環境部

◆4款 衛生費

No.	新規 拡充	事業名	予算額 (千円)	うち補正 前倒し分	説明	担当部
49	新規	保健福祉センターのLED化推進	16,500		保健福祉センターの一部フロア照明をLEDに更新します。	健康福祉部
50	拡充	夜間休日急病センターの運営	214,431		夜間における一次救急医療体制を確保するため、夜間休日急病センターで内科、外科、小児科を開設します。また、R8よりカルテ作成にAIを活用し、医師と患者が向き合う時間を確保することで、より良い診察環境を整えます。	健康福祉部
51		休日救急歯科診療所の運営	20,108		休日の歯科受診に対応するため、日・祝日、年末年始に保健福祉センター内で休日救急歯科診療所を開設します。また、水・木曜日に障がい者歯科診療を実施します。	健康福祉部
52		あぶくまクリーンセンター焼却工場再整備	6,191,062		安全安心な環境にやさしい施設として、令和10年4月の供用開始を目指し、建設を進めます。 【R5～R9継続費 全体事業費20,694,981千円】	環境部
53		あらかわクリーンセンター焼却工場長寿命化整備	19,853		あらかわクリーンセンター焼却工場の長寿命化整備に向け、事業者選定アドバイザー業務委託等を行います。 【R7～R9継続費 全体事業費28,000千円】	環境部
54	拡充	ごみ減量化促進対策	8,980		市民1人1日当たりの家庭系ごみ排出量(資源物除く)を530g以下とすることを目標に、ごみの減量化・資源化を促進します。また、新たに、ごみ分別アプリにチャットボット機能を追加し、分別の促進を図ります。	環境部
55		ごみ適正排出の推進	7,623		使用済み電池類の分別回収や、分別区分等の周知啓発のため啓発用ステッカーの作成など、ごみの適正排出・資源化の推進を図ります。	環境部
56	新規	ごみ収集デジタル推進	3,085		ふれあい訪問収集に収集状況をリアルタイムで確認できる「見える化」システムを導入し、収集体制の効率化と対象者の見守り環境の向上を図ります。	環境部

◆5款 労働費

No.	新規 拡充	事業名	予算額 (千円)	うち補正 前倒し分	説明	担当部
1		ダイバーワークスタイル推進	520		女性活躍の推進や男性の育児家事促進、障がい者雇用、高齢者雇用等に取り組む企業を認証し、多様な働き方を推進します。また、ダイバーワークスタイルの推進に向け、市内企業を対象にセミナー等を開催します。	商工観光部
2		東京圏わかもの就活応援	360		若年層の市内就職・移住を促進するため、東京圏在住の学生が市内企業の採用選考等の参加に要した交通費及び市内への移転費を補助します。	商工観光部
3	新規	中小企業賃上げ支援	70,000	70,000	最低賃金の引上げにより経営への影響が懸念される中小企業等に対し、賃上げに要する経費の一部を補助します。	商工観光部

◆6款 農林水産費

No.	新規 拡充	事業名	予算額 (千円)	うち補正 前倒し分	説明	担当部
1		農業行政DX推進	3,300		農地の現地調査に人工衛星による画像解析を導入し、業務の効率化を図ります。	農政部
2		農地集積支援(農地中間管理)	2,571		農地中間管理事業の推進によって、地域計画に位置付けられた担い手への農地の集積・集約化を図ります。	農政部
3		農地集積支援(遊休農地等再生 対策支援)	2,997		遊休化した農地で作物生産等を再開するための再生作業等に 必要な経費を補助します。	農政部
4		スマート農業実装支援	20,000		スマート農機具等購入費の一部を補助します。	農政部
5		鳥獣被害等対策(鳥獣被害対策 実施隊の配置)	2,000		猟友会員等を鳥獣被害対策実施隊員に任命し、イノシシ等の捕 獲・駆除、追い払い活動等を行います。	農政部
6		鳥獣被害等対策(イノシシ捕獲 対策)	20,700		イノシシ捕獲頭数に応じて、補助金を交付します。	農政部
7		鳥獣被害等対策(侵入防止柵の 整備)	4,700		電気柵、ワイヤーメッシュ柵及びネット柵を設置する農業者に設 置及び補修費用の一部を助成します。	農政部
8		鳥獣被害等対策(鳥獣被害対策 実施隊員の確保)	741		狩猟免許を取得し実施隊員に加入する方に対し、免許取得経費や 射撃練習経費の一部を助成します。	農政部
9		鳥獣被害等対策(有害鳥獣対策 専門職員の配置等)	13,244		専門知識や狩猟免許等を有する職員を配置します。(2名)	農政部
10		鳥獣被害等対策(有害鳥獣被害 対策協議会等負担金)	20,591		鳥獣被害対策専門員の活動、捕獲資機材の購入、調査業務等 の費用の一部を負担します。	農政部
11	拡充	鳥獣被害等対策(ツキノワグマ 被害等特別対策)	31,043	20,971	ツキノワグマから市民の命と暮らしを守るため、忌避音響装置 の増設や緩衝帯の整備等により人の生活圏への出没防止等を 講じるとともに、新たに、クマ糞や麻酔銃等の追加購入等によ りクマ捕獲体制を強化します。	農政部
12		環境保全型農業直接支払交付 金	3,956		環境にやさしい農業に取り組む農業者に対して経費の一部を 助成します。	農政部

◆6款 農林水産費

No.	新規 拡充	事業名	予算額 (千円)	うち補正 前倒し分	説明	担当部
13		担い手の確保(新規就農者育成 総合対策)	209,775		新たに農業経営を行おうとする農業者に対し、機械等導入及び 経営開始資金を交付します。	農政部
14	拡充	担い手の確保(あぐりっしゅサ ポート)	10,258	495	農業体験や先輩農業者によるメンター制指導、農地確保、営農 開始支援など総合的な支援パッケージによって新規就農者を サポートするとともに、新たに新規就農者限定の「スマート農 業」支援枠を設け、就農定着を強化します。	農政部
15		担い手の確保(経営継承・発展 等支援)	2,000		経営を譲り受けた後継者の経営発展に向けた取組に対し、補 助金を交付します。	農政部
16		担い手の確保(切らずにつなぐ 樹園地継承)	200		後継者のいない樹園地の情報を登録する「樹園地継承システ ム」に登録された樹園地が新たな担い手に継承された場合に、 農地の出し手に対し「樹園地継承奨励金」を交付し、樹園地の 円滑な継承を促進します。	農政部
17		「ゆうやけベリー」ブランド化推 進	3,000		福島県オリジナル品種「ゆうやけベリー」の生産者に対する栽 培環境整備費用の一部を補助します。	農政部
18		あづま山麓エリア観光(四季の 里整備)	8,682		四季の里のリニューアルに向け、園路舗装の修繕など施設整備 を行います。	農政部
19		ふくしまの農産物魅力アップ	4,775		重点消費地へのトップセールス等を積極的に行います。また、 都市型マルシェへ出店し、販路拡大を図ります。	農政部
20		地域でつくる農林業振興基金事 業	61,900		農林業振興基金を活用し、農業者団体等による、地域の農業課 題解決のための取組を支援します。	農政部
21	拡充	脱炭素・循環型農業支援	5,800		剪定枝等を炭化する炭化器の購入や、園芸施設における燃油 不使用型暖房設備の導入や、新たに生分解性マルチなどの脱 炭素に資する農業用資材の購入に要する費用を一部補助しま す。	農政部
22	拡充	気候変動適応型農業支援	16,615		既存のモモせん孔細菌病対策に新たにカメムシ対策を加えた 果樹の病害虫防除薬剤購入費や、裂果防止・病害虫防除等に効 果のある雨よけハウス等の設置費の一部を補助します。 また、水源確保(井戸掘削)や自動かん水装置等の導入に要す る費用の一部を補助します。 さらに、農業者が加入する収入保険と果樹共済の掛金の一部 を助成します。	農政部
23		循環型農業先導的モデル構築 支援	3,032		脱炭素・循環型農業を重視した規格外果実など地域内未利用 資源を有効活用する先導的な取組に対して、費用の一部を補 助します。	農政部
24		ふくしまスカイパーク運営管理	28,434		安全運航のための監視カメラ設置工事等の施設整備を実施し ます。	商工観光部

◆6款 農林水産費

No.	新規 拡充	事業名	予算額 (千円)	うち補正 前倒し分	説明	担当部
25		放射性物質吸収抑制対策	29,039		水稲及び牧草等へのカリ肥料の散布や果樹の改植など放射性物質の吸収抑制対策を支援します。	農政部
26		畜産支援(黒毛和種品質向上推進)	1,250		優良な繁殖雌牛導入や市場価値の高い子牛生産のため人工授精を実施した畜産農家へ費用の一部を助成します。	農政部
27		畜産支援(酪農経営サポート)	700		酪農ヘルパー利用料金の一部を助成します。	農政部
28		農業施設等の長寿命化・防災減災対策への支援	3,000		市土地改良区及び水利組合等が管理する農業施設の改修工事等を支援します。	農政部
29		農道、水路、ため池等の整備	34,000		各地区の農業用施設等の整備を加速化します。	農政部
30		土地改良施設維持管理適正化事業	500		市土地改良区が実施する揚水機の水中ポンプ工事を支援します。	農政部
31		河川浸水対策	47,000		頻発する豪雨や台風等による浸水予防及び被害軽減のため、農業水利施設の整備を進めます。	農政部
32		田んぼダム推進	18,043		田んぼダムの取組により、大雨時に河川への雨水流出量を抑制します。 (信夫地区)	農政部
33		農業用水濁水・防災対策	10,000		農業用水路の浚渫や改修を実施し、農業用水の安定的な確保を図ります。	農政部
34		森林環境学習・保存活動の支援	9,828		小学校が実施する体験学習や観察学習など森林環境学習を支援します。	農政部
35		森林経営管理の推進	54,192		森林を適切に管理するため、森林所有者に対する意向調査を実施し、経営管理権集積計画を作成するとともに、森林整備を実施します。 また、森林や林業を身近にするための普及啓発事業を行います。	農政部
36		森林再生の推進	74,180		原子力災害により停滞した森林整備を行うことで放射性物質を削減し、森林の再生を図ります。 (西地区、吾妻地区、立子山地区)	農政部

◆6款 農林水産費

No.	新規 拡充	事業名	予算額 (千円)	うち補正 前倒し分	説明	担当部
37		林業専用道の整備	21,000		森林整備等に利用する林業専用道を整備します。(林道 上古屋線)	農政部

◆7款 商工費

No.	新規 拡充	事業名	予算額 (千円)	うち補正 前倒し分	説明	担当部
1		中小企業振興資金融資	739,102		中小企業者の資金繰りを支援するため、市、金融機関、県信用保証協会が連携して融資を行います。 また、信用保証料の一部を補助します。 (中小企業一般融資利用者:補助率1/2 県起業家支援保証制度利用者:補助率4/5)	商工観光部
2		中小企業ゼロカーボン資金融資	211,000		中小企業者のゼロカーボンの取り組みを支援するため、製品開発や設備導入事業に対する融資を行います。 また、信用保証料の一部を補助します。 (補助率2/3)	商工観光部
3		凍み豆腐事業継承推進	2,000		凍み豆腐生産の継承を目指し、福島大学や生産者と連携して、気候変動に適應した製法を調査研究します。	商工観光部
4		企業立地促進	7,070		企業訪問や各企業展示会への出展、企業立地セミナーの開催等を通して、本市への企業誘致を図ります。	商工観光部
5		「ゆとり満喫福島オフィス」開設支援	5,000		市内へのオフィス開設等に係る費用の一部を補助します。	商工観光部
6		街なかにぎわい創出	30,687		「街なか交流館」を賑わい創出の拠点として活用するとともに、街なかイベントに関する情報を発信し、街なかの活性化を図ります。	商工観光部
7		商店街等活性化イベント支援	25,000		商店街等が実施するイベント経費の一部を補助します。	商工観光部
8		街なかテーマパーク開催	5,000		街なか全体でこどもたちをおもてなしするため、福島駅前通りやまちなか広場等において、ロードトレインやステージショーを中心とした「街なかテーマパーク」を開催します。	商工観光部
9	新規	大ゴッホ展街なか誘客促進	2,500		オリジナルフラッグ掲出や市内飲食店と連携した特別メニュー「ゴッホ飯」を情報発信し、大ゴッホ展来訪者へのおもてなしと街なかをはじめとした賑わいを創出します。	商工観光部
10		新規出店のための内外装工事等補助	20,000		空き店舗や新規店舗、空き家に出店する事業者に対し、工事等にかかる経費の一部を補助します。	商工観光部
11		街なか出店家賃補助	54,394		街なかの空き店舗や新規店舗、空き家に出店する事業者に対し、家賃の一部を補助します。	商工観光部
12	新規	新規オフィス開設支援補助	7,200		市内対象エリアに知識集約型産業のオフィスを新規開設する法人に対し、開設に伴う費用の一部を補助します。	商工観光部

◆7款 商工費

No.	新規 拡充	事業名	予算額 (千円)	うち補正 前倒し分	説明	担当部
13		街なかチャレンジショップ支援	7,670		チェンバおおまち1階でチャレンジショップを運営し、意欲的な新規創業者を支援します。 また、チャレンジショップ入居者に対し、創業に向けた経営指導を実施します。	商工観光部
14		新規創業者等支援(経営相談・指導)	1,100		中心市街地の新規創業者に対して、経営コンサルタントによる経営支援を実施します。	商工観光部
15		「納豆のまち福島」ブランド化推進	1,000		専用サイト「ねばりんく」、納豆グルメマップを活用した情報発信を通じ、「納豆のまち福島」のブランド化を推進します。	商工観光部
16		ふくしま産業交流フェアの開催	1,800		多様な事業者や関係者との接点の機会を設け、圏域内における新たなビジネスの創出や新規取引の拡大を目的に、「ふくしま産業交流フェア」を開催します。	商工観光部
17	拡充	ふくしま花のまちフェスティバル補助	1,500		古閑裕而ストリートに花ももの木プランターを設置し、本市を訪れる観光客をおもてなしします。 また、R8は、ふくしまDCによる観光客をおもてなしするため、福島駅構内に花のモニュメントを設置します。	商工観光部
18		産業支援コーディネーターによる企業支援	7,470		産業支援コーディネーターを2名配置し、市内企業の課題解決や、企業と研究機関等の連携を支援します。	商工観光部
19		新製品・新技術開発支援	15,143		新製品・新技術の開発に要する経費の一部を補助します。	商工観光部
20		クリエイティブビジネスサロン管理運営	16,892		多様な働き方に対応したビジネス交流拠点として、若手や女性の起業、新規創業を支援します。	商工観光部
21		中心市街地活性化イベント支援	4,000		光のしずくイルミネーション開催経費の一部を補助します。	商工観光部
22	新規	プレミアム付きクーポン	1,190,500	1,190,500	食料品をはじめとした物価高に直面する市民生活の支援と地域経済の下支えを図るため、プレミアム付きクーポンを発行します。	商工観光部
23		ふくしま三名湯誘客促進	1,500	1,500	ふくしま三名湯への誘客促進とブランディングの更なる磨き上げを図るため、飯坂・土湯・高湯温泉と連携し、ふくしまデザインレーションキャンペーン等を活用したプロモーションを実施します。	商工観光部
24		温泉地活性化推進	18,000		飯坂、土湯、高湯のふくしま三名湯が実施する温泉地活性化事業や、誘客宣伝のためのイメージアップ事業、PR事業等を支援します。	商工観光部

◆7款 商工費

No.	新規 拡充	事業名	予算額 (千円)	うち補正 前倒し分	説明	担当部
25		ふくしまデスティネーションキャンペーン	4,582	3,482	R8春のふくしまデスティネーションキャンペーンに際し、首都圏でのプロモーション等を実施するほか、観光体験イベントを開催します。	商工観光部
26		ロケツーリズム推進	3,370		本市の知名度やイメージ向上を目的に、映画やテレビ等のロケ誘致・支援に取り組みます。また、映画・ドラマ等のロケにかかる経費の一部を支援し、ロケ誘致の拡大を図ります。	商工観光部
27		ふくしま花回廊推進	8,500		春の花観光シーズンに合わせ、新たに「ふくしま花回廊フォトラリー」を実施し、市内観光スポットへの周遊促進及びふくしまDCの機運向上を図ります。また、花回廊スポットの受入環境整備等に取り組みます。	商工観光部
28		南東北三市連携	2,670		仙台市、山形市と連携し、三市ゴールデンルートの商品造成・販売や旅行会社へのプロモーション等を実施するほか、三市の特産品の販路拡大を支援します。	商工観光部
29		ふくしま田園観光圏連携	11,255		ふくしま田園中枢都市圏構成市町村に相馬市を加えた10市町村で連携し、教育旅行の誘致や周遊促進事業、魅力発信事業等を実施します。	商工観光部
30		スイーツ・プレミアム	2,240		本市農産物等を使用したスイーツを「ふくしまスイーツ・プレミアム」としてブランディングし、県外を中心にプロモーションを展開します。	商工観光部
31		「ふくしまステイ。」プロモーション	9,250		本市の滞在スタイルを「ちょうどいい旅、ふくしまステイ。」としてブランディングし誘客プロモーションを実施します。SNS等のデジタルツールを活用したプロモーションや旅行商品の造成・販売、体験コンテンツ販路拡大等を実施します。	商工観光部
32		あづま山麓ツーリズム推進	2,970	2,970	あづま山麓エリアへの誘客と周遊促進を目的に、地域共創ワークショップやガイド人材育成等を実施し、地域一体となった受け入れ体制を整備します。	商工観光部
33		インバウンド誘客プロモーション	8,000		インバウンド誘客を目的に、SNSを活用したプロモーション、台湾現地でセールスを実施します。	商工観光部
34	新規	観光DX推進(AI観光案内)	7,248		R8春のふくしまデスティネーションキャンペーン等に備え、インバウンド対応やおもてなし機能の強化のため、福島駅東口にAI観光案内を設置します。	商工観光部
35		花ウォーク・ツーデーマーチ開催支援	2,000		花見山等をめぐる「花ウォーク・ツーデーマーチ」の開催を支援します。	商工観光部
36		東日本連携	127		東北・北海道新幹線及び上越・北陸新幹線沿線自治体等と連携し、Webプロモーション等を活用して交流人口の拡大と地域の活性化を図ります。	商工観光部

◆7款 商工費

No.	新規 拡充	事業名	予算額 (千円)	うち補正 前倒し分	説明	担当部
37		福島駅前交流・集客拠点施設整備	24,445		福島駅前交流・集客拠点施設の運営候補者公募に向けた準備を進めます。	商工観光部
38		コンベンション誘致・支援	16,787		観光コンベンション協会と連携し、MICE誘致・開催支援を実施します。 参加者の市内延べ宿泊者数に応じてコンベンション開催経費の一部を補助するとともに、エクスカーション(MICEに付随する観光・研修旅行)を支援します。	商工観光部
39		東北六市連携	23,407		「東北絆まつり2026盛岡」に出演し、東北の復興と魅力を発信し、誘客を促進します。 また、六市共同で首都圏での観光物産プロモーションを実施します。	商工観光部
40		風評対策(観光)	870		首都圏等でのイベントに参加し、本市の観光・物産をPRします。	商工観光部
41		春の花見山おもてなし	61,318		花見山観光受入体制を整備し、来訪者へのおもてなしに取り組みます。また、交通規制(警備員配置・シャトルバス運行等)を実施し、住民生活への影響軽減を図ります。	商工観光部
42		観光施設等改修	7,315		福島市旧堀切邸のエアコン設置工事等を実施します。	商工観光部
43		あったか湯リニューアル工事	70,000	70,000	高湯温泉の特徴である「源泉かけ流し」を楽しんでいただくため浴槽のリニューアル工事を実施します。	商工観光部
44		地域振興施設「道の駅ふくしま」管理運営	50,129		地域振興の拠点として、賑わいの創出と交流人口の拡大を図ります。	商工観光部
45		遊歩道整備	2,152		磐梯朝日国立公園内遊歩道の木橋改修工事を実施します。	商工観光部
46		消費者被害未然防止対策	1,277		消費者の安全を守る地域協議会の連携強化により高齢者等の消費者被害の未然防止・拡大防止を図るとともに、自動通話録音機(悪質電話撃退装置等)の購入費用の一部を補助します。 (補助率1/2 上限5,000円) また、様々な機会を捉えて消費者教育を行います。	市民・文化スポーツ部

◆8款 土木費

No.	新規 拡充	事業名	予算額 (千円)	うち補正 前倒し分	説明	担当部
1	拡充	住まいの耐震化促進	11,680		S56年5月以前に建てられた木造住宅の耐震診断・改修・建替 工事・耐震シェルター等設置費用の一部補助を実施します。 (耐震診断補助上限156千円→234千円)	都市政策部
2	拡充	ブロック塀撤去助成	3,000		倒壊による事故を未然に防止するため、個人が実施する撤去 費用の一部を助成します。 (補助上限100千円→125千円)	都市政策部
3	拡充	マンション管理の適正化推進	632		専門家によるセミナーを開催するほか、新たに無料相談会を実 施し、マンション管理の適正化を推進します。	都市政策部
4		生活道路安全対策	10,000		生活道路安全対策エリアについて、路面標示等安全対策を実施 します。	建設部
5		交通安全施設の整備	69,000		歩道の段差解消や道路標識、道路照明灯の更新等を実施しま す。 (段差解消:L=110m など)	建設部
6		通学路等安全対策	20,000	4,128	小・中学校等の通学路等の危険箇所について、関係機関等との 合同点検に基づき、交通安全施設を整備します。 (対象箇所:6箇所)	建設部
7		道路施設の点検	10,000		道路照明灯・道路標識の点検等のほか、路面陥没の危険性確認 のため路面下空洞調査を実施します。	建設部
8	新規	歩道点字シート等設置	14,000		移動等円滑化推進地区のうち、点字ブロック未整備箇所に点字 シート等を整備します。 (福島駅西口周辺1路線L=317m)	建設部
9	新規	緊急輸送路の冠水対策	154,100		アンダーパスの冠水対策として北矢野目ポンプ場の設備更新 工事を行います。 【R7～R8継続費 全体事業費230,000千円】	建設部
10		浸水センサの運用	1,192		浸水センサを活用し、大雨及び豪雨時における現場対応の迅 速化を図ります。	建設部
11		土留側溝冠水対策	10,000		道路側溝の排水能力を向上させる工事等を行います。	建設部
12		ムクドリ・カラス対策	900		街路樹の剪定により、ねぐら化を防ぎ、中心市街地のフン被害 軽減を図ります。	建設部

◆8款 土木費

No.	新規 拡充	事業名	予算額 (千円)	うち補正 前倒し分	説明	担当部
13		道路の地域安全緊急対策	100,000		交通量が多い市道の舗装・外側線等の修繕、緊急車両の通行、災害時の避難に支障をきたす道路の改良を集中的に行い、市民生活の安全向上を図ります。	建設部
14		除排雪に要する経費	82,422		除排雪作業による交通輸送路の確保、小型除雪機械や用具の貸し出し、LINE通報システムの活用など、市民との共創による除雪体制の強化を図ります。	建設部
15		凍結防止剤散布体制の充実	4,601		凍結防止剤散布車を2台リースし、凍結防止剤散布体制を維持します。 (全5台:所有車3台、リース車2台)	建設部
16		凍結防止剤自動散布装置	1,657		凍結防止剤自動散布装置(まきえもん)をスリップ事故が多い下り坂のカーブ手前などに設置し、冬期間の安全な交通を確保します。 (設置6箇所)	建設部
17		小型除雪機械購入補助	1,200		町内会やボランティア団体等が地域の生活道路や通学路等の除雪を行うために導入する小型除雪機械の費用の一部を助成します。 (購入費用の1/2 上限30万円)	建設部
18		除雪車運行管理システム運用	8,338		除雪車運行管理システムを運用し、効率的な除雪作業を行います。	建設部
19	拡充	除雪基本待機保証	11,600		除雪委託業者の不稼働時間かかる人件費のほか、新たに除雪機械に対する待機保証を行うことにより、除雪体制を維持します。	建設部
20	拡充	街路灯・道路照明灯LED化推進	228,360		既存の街路灯(1,300灯)及び道路照明灯(720灯)のほか、新たにボックスカルバート灯(200灯)をLED灯に切り替えます。	建設部
21		通学路の道路改良	80,000	70,000	歩道の拡幅等を行い、通学路の安全を確保します。 北谷地長畑線(北谷地区) 50,000 南町佐倉下線 20,000 中町太田町線 10,000	建設部
22		杉妻町御山線(新浜町工区)	70,000	30,000	市街地の防災拠点を結ぶ幹線道路の拡幅工事を行います。 (全体計画:L=460m)	建設部
23		御山町信夫山線(狐塚工区)	10,000		街なかから信夫山へのアクセス道路の新設工事を行います。 (全体計画:L=60m)	建設部
24		椿沢線(大久保工区)	7,000	7,000	飯野地区と川俣町を結ぶ幹線道路の用地測量を行います。 (全体計画:L=597m)	建設部

◆8款 土木費

No.	新規 拡充	事業名	予算額 (千円)	うち補正 前倒し分	説明	担当部
25		鍛冶台内線	7,000	7,000	主要地方道川俣・安達線と一級市道中央線を結ぶ市道の拡幅 工事を行います。 (全体計画:L=305m)	建設部
26		橋梁点検	60,000		省令等に義務付けられた橋梁点検を定期的を実施し、長寿命 化修繕計画に反映します。 (清水橋ほか175橋)	建設部
27		橋梁補修・耐震化	868,300	162,350	橋梁の補修工事及び耐震補強工事を実施します。 (天神橋ほか51橋)	建設部
28		ハザードマップ活用	33,645		洪水ハザードマップや土砂災害ハザードマップを更新し、公表・ 配布します。	建設部
29		河川監視カメラの公開	4,228		浸水被害が多発している地区の監視カメラの管理を行うとと もに、現地状況をリアルタイムで一般公開します。 (公開カメラ:6台)	建設部
30		河川氾濫防止対策	5,377		浸水被害軽減対策として、台風や豪雨時の内水排除作業に備 えます。 (内水排除箇所:24箇所)	建設部
31		河川浸水対策	300,000		頻発する豪雨や台風等による浸水予防及び被害軽減のため、 準用河川等の整備を進めます。 (対象河川:12河川)	建設部
32		長期未着手都市計画道路の見 直し	650		社会経済情勢の変化を踏まえた長期未着手都市計画道路の見 直し方針に基づき、地元との合意形成を図り、都市計画法に基 づく手続きを行います。	都市政策部
33	拡充	福島駅周辺利便性向上の検討	10,000		県都の顔である福島駅周辺の価値向上のため、新たに東西連 携強化に向けた調査検討を行います。	都市政策部
34		3Dデジタル都市計画情報の推 進	62,500		都市計画図を最新の情報に更新します。併せて、都市計画情報 や災害リスクを三次元で可視化し、オープンデータ化します。	都市政策部
35		ウォーカブル推進	23,877		AIカメラ人流分析システムの活用により、まちなかの歩行者等 の通行量を年間を通して計測し、公表します。	都市政策部
36		福島駅周辺まちづくり検討推進	463		福島駅周辺の価値向上のため、東西一体のまちづくりについ て検討します。	都市政策部

◆8款 土木費

No.	新規 拡充	事業名	予算額 (千円)	うち補正 前倒し分	説明	担当部
37	拡充	空家等対策推進	66,066		空き家の発生予防のための普及啓発や、移住者や新婚・子育て世帯を対象とした空き家リフォーム支援、空家等対策計画の改定、空家活用融資制度による支援のほか、新たに空き地バンクの運営を行うことにより、空き家・空き地の解消と利活用に取り組みます。	都市政策部
38	拡充	低未利用地の利活用促進	3,800		福島駅周辺の土地の利活用促進のため、新たに駐車場の実態調査を行います。	都市政策部
39		鉄道施設の整備促進	115,933		地域鉄道の利便性及び安全性の向上を図るため、阿武隈急行線及び福島交通飯坂線の設備等の更新に係る費用に対し、国県・沿線自治体と協調して補助します。	都市政策部
40		阿武隈急行への支援	68,887		阿武隈急行線の沿線自治体と協調して運行継続のための経費を支援します。	都市政策部
41		バス路線運行維持対策	248,946		日常生活に密着した生活路線バス等運行にかかる赤字補てんに加え、運転手確保のための第二種免許取得促進策に対して、交通事業者へ支援を行います。	都市政策部
42		中心市街地活性化交通支援	28,800		中心市街地の回遊性向上及び公共交通の利用促進を図るため、市内循環バスの運行経費の一部を補助します。 (R6利用者数:約60万人)	都市政策部
43		パークアンドライド運営	3,924		土日祝日に市役所北側駐車場でパークアンドライドを実施し、中心市街地の回遊性を高め、にぎわいの創出を図ります。	都市政策部
44		地域で支える交通支援	11,186		公共交通不便地域等において乗合タクシーを運行するほか、地域が自ら計画・運行する「小さな交通」に対し、運行経費の一部補助など、伴走型支援を行います。	都市政策部
45		メロディーバス運行	20,747		「あかメロディ」と「あおメロディ」2台のメロディーバスを路線バスのほか観光・イベントに活用します。	都市政策部
46		ムクドリ・カラス対策	5,000		福島駅東口・西口駅前広場の樹木の剪定等により、ねぐら化を防止、中心市街地のフン被害軽減を図ります。	都市政策部
47	新規	駅前広場のLED化推進	35,000		福島駅東口駅前広場の照明をLEDに更新します。	都市政策部
48		ユニバーサルデザインのまちづくり推進	6,339		バリアフリーマスタープランに位置付けられた移動等円滑化促進地区(3地区)のバリアフリー基本構想を作成します。	都市政策部

◆8款 土木費

No.	新規 拡充	事業名	予算額 (千円)	うち補正 前倒し分	説明	担当部
49		ふくしま花のまちづくり	6,147		福島駅前通り、東西駅前広場にフラワーバスケット等を設置します。また、市民共創で花のまちづくり事業を推進します。	都市政策部
50		自転車駐車場の整備	90,000		あづま陸橋下自転車駐車場の再整備(第2期)を行います。	都市政策部
51		ももりんシェアサイクル運営	17,619		シェアサイクルの管理運営を行い、中心市街地の回遊性向上を図ります。	都市政策部
52		太平寺岡部線(御山町工区)	170,000	21,000	学法福島高校から国道13号を結ぶ幹線道路の拡幅工事を進めます。 (全体計画:L=450m)	建設部
53		北沢又丸子線(北沢又工区)	40,000		福島西道路と飯坂街道を結ぶ幹線道路の用地補償等を行います。 (全体計画:L=320m)	建設部
54		杉妻町早稲町線	160,000	17,000	旧4号からNHK福島放送局までの区間の拡幅工事を進めます。 (全体計画:L=240m)	建設部
55		矢剣町渡利線(渡利西工区)	45,000	10,000	国道4号から福島駅西口方面を結ぶ幹線道路の測量設計等を行います。 (全体計画:L=340m)	建設部
56	新規	公園施設のLED化推進	2,400		公園施設の照明をLEDに順次更新します。	都市政策部
57	拡充	公園遊具の安全・安心対策	6,257		公園遊具の修繕工事のほか、新たにハザード箇所の解消に取り組みます。	都市政策部
58		公園トイレの整備	6,000		公園トイレの洋式化を行い、公園施設の快適性を向上します。	都市政策部
59		御倉邸ウッドデッキ整備	9,200		御倉邸ウッドデッキ整備に伴う設計を行います。	都市政策部
60		御倉邸エアコン設置	2,500		御倉邸にエアコンを設置し、より快適な利用環境を確保します。	都市政策部

◆8款 土木費

No.	新規 拡充	事業名	予算額 (千円)	うち補正 前倒し分	説明	担当部
61		公園施設長寿命化対策	85,000	32,400	老朽化施設の更新等を実施し、公園利用者の安全安心を確保します。	都市政策部
62		福島駅東口地区市街地再開発支援	648,000		県都ふくしまの顔となる官民連携による再開発事業を支援します。	都市政策部
63	新規	福島北地区周辺道路の整備	42,012		福島北地区周辺道路整備のため、測量設計及び工事等を実施します。	都市政策部
64		花園町地区教育施設移転支援	69,932		都市機能区域に教育施設を移転する事業者を支援します。	都市政策部
65		学生等によるにぎわい創出	1,000		福島駅東口地区市街地再開発工事期間中のにぎわい創出として、学生等が企画する取組を支援します。	都市政策部
66		まちなか広場等の管理	5,782		まちなか広場等の管理運営を行い、中心市街地のにぎわい創出と回遊性向上を図ります。	都市政策部
67		福島駅東口地区市街地再開発事業資金貸付	500,000		再開発事業の事業主体に国の制度を活用した無利子貸付けを行い、資金調達を支援します。	都市政策部
68		わかもの住まい支援	4,400		民間賃貸住宅を活用し、若者夫婦・子育て世帯を対象とした家賃支援を行います。	都市政策部
69	新規	市営住宅の空き住戸活用	3,000		老朽化した施設の改修などを行います。 R8は、誠電社WINDYスタジアムの第3種陸上競技場としての公認を更新するための改修工事や、インテックテニスガーデンの人工芝張替工事などを実施します。	都市政策部
70		トーク解析AIシステムの活用	501		市営住宅に関する電話の自動録音・文字起こしの機能を備えたトーク解析AIシステムの活用により、業務効率化を図ります。	都市政策部
71	拡充	市営住宅のLED化推進	130,000		市営住宅の共用設備(廊下灯、外灯等)のほか、新たに宅内(玄関、トイレ等)の照明をLEDに順次更新します。	都市政策部

◆9款 消防費

No.	新規 拡充	事業名	予算額 (千円)	うち補正 前倒し分	説明	担当部
1		AEDサポート事業所との連携	212		AED貸出協力企業に対して「福島市AEDサポートステーション」の掲示板を交付し、官民一体となり市民の生命を守ります。 (設置施設115箇所)	消防本部
2		消防検閲式の開催	2,461		消防団員の各種訓練成果を発信するとともに、地域防災協力体制を強化します。 (隔年開催、前回開催年度:R6)	消防本部
3	拡充	消防団等の被服整備	12,559		消防団員が災害対応や訓練等において安全に活動できるように活動服等を整備します。また、新たにラッパ隊の盛夏服を整備します。	消防本部
4	新規	消防団員準中型免許取得補助	400		消防団の出勤体制を維持するため、消防団員が準中型免許を取得する際の経費を一部補助します。	消防本部
5		消防車両等の更新	121,140		水槽付消防ポンプ自動車1台、高規格救急自動車1台を更新し、市民の安全・安心を確保します。	消防本部
6		消火栓の整備	41,968		各地区の消火栓を整備します。 (設置替29基)	消防本部
7	新規	消防本部・福島消防署の整備	2,149,799		R10.4月の供用開始に向けて、建築工事、電気設備工事、機械設備工事等を実施します。 【R7～R9継続費 全体事業費5,374,000千円】	消防本部
8	新規	高機能消防指令センターの整備	527,639		消防本部・福島消防署の移転にあわせ、高機能消防指令センターを整備します。 【R8～R10継続費 全体事業費1,758,000千円】	消防本部
9		消防団車両等の更新	38,106		消防団活動を支援する消防ポンプ自動車1台、小型動力消防ポンプ積載車1台を更新し、地域の安全・安心を確保します。	消防本部
10	拡充	総合防災情報システムの運用	27,438		災害情報などを一元的に収集・管理できる災害対策オペレーションシステムの運用や、災害現場の状況を効率的に捕捉できるSNS情報収集システムの活用を図ります。 R8は、国で実施する新たな防災気象情報の運用に対応するようシステムを整備します。	危機管理室
11		災害用通信設備の運用	2,759		災害時優先携帯電話(3台)やIP無線機(96台)、現場映像伝送装置(3台)の運用により、災害発生時の情報収集・伝達を迅速かつ確実に行います。	危機管理室
12	拡充	避難所備蓄品の整備	38,687	7,800	計画的に備蓄品を配備し、必要数の確保や断水対策等を強化することで、安全安心な避難所環境を整備します。 R8は、ふくしま田園中枢都市圏の連携事業として、水を共同購入します。 また、プライバシー確保のためのテント式パーティションを必要数整備します。	危機管理室

◆9款 消防費

No.	新規 拡充	事業名	予算額 (千円)	うち補正 前倒し分	説明	担当部
13		避難所の環境整備	31,250		避難所のトイレ対策として、トイレカーを導入します。	危機管理室
14		ペット同伴避難所の環境整備	244		ペットと飼い主が避難所内で一緒に過ごすことができる「ペット同伴避難所」の開設に必要な物品を整備します。	危機管理室
15		防災意識醸成・危機対応力向上	190		様々な世代が気軽に楽しみながら防災について学ぶ「ぼうさい体験パッケージ」を学校や企業、地域において実施し、自助共助意識を醸成します。	危機管理室
16		ふくしま防災体験フェア	1,000		災害協定締結企業や消防フェアと連携し、まちなかで災害を疑似体験できるフェアを開催し、気軽に防災に触れる機会の創出と防災意識の醸成を図ります。	危機管理室
17		自主防災組織の育成	723		自主防災組織を対象に、防災講演会の開催、防災訓練の支援・指導を行い、各地区の防災力の強化を図ります。	危機管理室
18		地域防災力の強化	4,085		地域の実態に応じた地区防災マップや地区防災計画の策定を支援します。 R8は、地区防災マップ4地区、地区防災計画4地区の策定を支援します。	危機管理室
19		被災者支援システムの運用	2,223		R7.9に導入した罹災証明の申請から被災者支援まで一元管理できるシステムにより、迅速に罹災証明書を発行し、災害時の早期生活再建につなげます。	危機管理室

◆10款 教育費

No.	新規 拡充	事業名	予算額 (千円)	うち補正 前倒し分	説明	担当部
1		語学指導を行う外国青年の招致	116,039		外国青年(ALT)を保育所、幼稚園、認定こども園、小・中学校へ派遣します。(19名)	教育委員会
2	拡充	特別支援教育の推進	252,161		肢体不自由や発達障がい等の児童生徒の学習を支援するため、特別支援教育協力員及び支援員を配置します。(R7:協力員47名・支援員41名→R8:協力員47名・支援員45名)	教育委員会
3		いじめ・不登校対策推進	12,837		市内の不登校生徒が多い学校に生徒支援教員を配置し、生徒の将来の社会的自立に向けて支援します。(11校)不登校傾向の児童を対象としたオンライン教材を提供します。	教育委員会
4		外国語活動支援事業	6,894		外国語活動支援協力員(EAA)を小学校へ派遣します。	教育委員会
5		指導力向上のサポート	1,602		教員への支援を行う授業改善サポーター(算数・数学)を学校に配置し、教員の授業力向上を図ります。	教育委員会
6		ふくしま・ふれあい・夢ぶらん	3,780		子どもたちが地域の人・もの・ことを生かした探究的な学習活動を進め、福島市の歴史、文化、伝統、自然、人材等にふれる機会を創出します。	教育委員会
7		中学生ドリームアップ	5,800		中学校及び義務教育学校後期課程の生徒を対象とした職場体験活動や事前学習、事後の進路選択に向けた学習など、3年間の系統性を持たせながら、子どもたちの「夢」と「志」を育むキャリア教育を推進します。	教育委員会
8		防災・放射線教育の推進	86		放射線教育を含めた防災教育研修会を実施します。	教育委員会
9	拡充	ICT教育推進事業	801,255		児童生徒1人1台端末の更新や各学校のネットワーク環境の整備を行い、多くの授業で活用し、情報活用能力の育成を図ります。R8.4に学習者用端末を更新します。	教育委員会
10		小中学校の適正規模・適正配置	102,826		実施計画に基づき、小・中学校の再編の推進など、よりよい学校づくりを進めます。また、再編を行った地域について、スクールバスを運行します。	教育委員会
11		学校活動応援事業	1,000		全国大会等で優秀な成績をおさめた市内の小・中学校に対し、学校活動の推進に必要な備品等を支給します。	教育委員会
12		福島型個性をのばす教育	693		本市ゆかりの著名人やスクール・サポート企業登録制度の登録企業との連携により、体験学習、文化芸術など各学校で特色ある教育を実施し、可能性に挑戦する子どもを育成します。	教育委員会

◆10款 教育費

No.	新規 拡充	事業名	予算額 (千円)	うち補正 前倒し分	説明	担当部
13		「非認知能力育成」実証プロジェクト	1,100		非認知能力(自制心、自己肯定感、勤勉性、やり抜く力、社会性など)の育成を目的とした実証プロジェクトに取り組みます。	教育委員会
14		学校図書館のICT化	26,815		義務教育諸学校に導入した学校図書館管理システムにより、学校間や市立図書館との連携を図るとともに、児童生徒の1人1台端末を活用することにより、児童生徒の読書活動や家庭学習を推進します。	教育委員会
15		学校連絡アプリ運用	2,545		学校と保護者間の通知を電子化し、円滑な意思伝達を図ります。	教育委員会
16		外国にルーツを持つこどもの日本語サポート	2,105		教員免許を保有する日本語指導コーディネーターを配置し、外国にルーツを持つ児童生徒が在籍する学校での日本語教育体制を整備します。	教育委員会
17	新規	学校施設包括管理導入	316,232		学校施設の保守管理、修繕業務等を含めて管理し、効率化を図ります。	教育委員会
18		子どものハートサポート	5,520		スクールカウンセラーが配置されていない小学校に相談員を配置し、児童の心に寄り添います。(6名)	教育委員会
19		奨学資金	4,650		教育の機会均等を図るため、経済的な支援として高校生等に奨学金を給与します。	教育委員会
20		不登校児童生徒の学校復帰支援	14,958		指導員を配置し、教科の学習や体験活動または自主学習等を通して、学校復帰や社会的自立の手助けをする教育支援センターを運営します。(指導員4名)	教育委員会
21		医療的ケア児の支援	4,994		看護師資格を有する職員を配置し、医療的ケアを行います。(1名)	教育委員会
22	新規	調査研究事業	865		教員の指導力向上のため、研究部会の立ち上げを行う。R8は探究的な学びに焦点を当て、児童生徒が自ら課題を見つけ解決に向け粘り強く探究する力を育みます。	教育委員会
23		スクールソーシャルワーカーの派遣	8,870		スクールソーシャルワーカーを配置し、関係機関との連携・調整及び児童生徒が置かれた環境への働きかけを行います。(3名)	教育委員会
24		心のケア推進	19,350		スクールカウンセラーを配置し、カウンセリング等を通して心のケアを実施します。(3名)	教育委員会

◆10款 教育費

No.	新規 拡充	事業名	予算額 (千円)	うち補正 前倒し分	説明	担当部
25		公立夜間中学の運営	3,676		令和6年4月に開校した県内唯一の公立夜間中学「天神スクール」を運営します。	教育委員会
26		学校図書館の図書整備	13,328		学校図書館の図書を更新し、子どもが最新の良書に触れ、本を手に取りやすい環境を整備するとともに、新聞の配置により、学習活動に活用します。	教育委員会
27		学校施設リフレッシュ	458,100	201,000	学校校舎の外壁など、学校施設の改修工事を実施します。(小学校2校) 【福島第二小学校北校舎他 R7～R8継続費 全体事業費158,500千円】 【三河台小学校南校舎他 R7～R8継続費 全体事業費266,000千円】	教育委員会
28		学校施設のLED化	573,000	573,000	学校施設の照明LED化を進めます。(小学校12校)	教育委員会
29	新規	福島第二小学校エレベーター設置	90,000		肢体不自由学級を設置している福島第二小学校にエレベーターの新設工事を行います。 【R7～R8継続費 全体事業費150,000千円】	教育委員会
30		学校施設リフレッシュ	367,000	60,000	学校校舎の外壁など、学校施設の改修工事を実施します。(中学校3校) 【岳陽中学校 R7～R9継続費 全体事業費375,000千円】 【信陵中学校南校舎他 R7～R8継続費 全体事業費360,000千円】 【平野中学校北校舎他 R7～R8継続費 全体事業費150,000千円】	教育委員会
31		学校施設のLED化	653,400	653,400	学校施設の照明LED化を進めます。(中学校12校)	教育委員会
32		義務教育学校の開校	180,000		本市初の義務教育学校として開校した松陵義務教育学校の既存校舎の解体等、施設の整備を推進します。 【R7～R8継続費 全体事業費450,000千円】	教育委員会
33		市立幼稚園ICT推進事業	588		市立幼稚園において保育業務支援システムを活用し、保護者の利便性の向上、保育士の負担軽減を図ります。	子ども未来部
34		特色ある幼児教育・保育推進事業	8,524		特色ある幼児教育・保育に積極的に取り組む施設に対して費用の一部を補助し、豊かな発想や感性を持った子どもたちの成長を支援します。また、事例集や動画の発信を通して、市内外に取組をPRすることで、子育て世代の定住人口拡大につなげます。	子ども未来部
35		幼稚園利用者実費負担軽減事業	4,998		低所得世帯等の保護者が支払うべき実費徴収に係る費用を一部補助します。	子ども未来部
36		海外チャレンジ応援	1,500		海外研修にチャレンジする中高生を支援し、世界に羽ばたく人材を育成します。	教育委員会

◆10款 教育費

No.	新規 拡充	事業名	予算額 (千円)	うち補正 前倒し分	説明	担当部
37		女性リーダーの育成	2,793		女性学級の各地区での開催や、研修会等を実施します。(女性学級25学級)	教育委員会
38		高齢者にもやさしいデジタル化 推進	1,401		ICT活用推進事業やスマートフォン利活用支援に関する講座を開催します。	教育委員会
39		地域と学校の共創推進	1,604		地域学校協働本部事業や放課後子ども教室を実施し、未来を担う子どもたちの成長を地域全体で支える地域教育力の向上を図ります。	教育委員会
40		文化財の保護・保存	3,512		文化財の調査を進めるとともに、指定文化財等の保護・保存に努めます。	市民・文化スポーツ部
41	拡充	文化財調査室整備	151,475		旧東湯野小学校を文化財調査室として整備します。 R8は、体育館を収蔵庫として活用するための改修工事を実施します。	市民・文化スポーツ部
42		和台遺跡整備基本計画の策定	184		和台遺跡整備基本計画の策定に向けて取り組みます。	市民・文化スポーツ部
43		「古閑裕而記念音楽祭2026」 の開催	5,000		古閑裕而の功績とその楽曲を継承する音楽祭を開催し、官民共創による「古閑裕而のまち・ふくしま」を推進します。	市民・文化スポーツ部
44		「ふくしままちなか音楽祭 2026」の開催	6,000		まちなか広場や福島駅前広場等を舞台とした市民参加型の野外音楽祭を開催します。	市民・文化スポーツ部
45		ふくしま文化芸術振興	27,214		国内外で評価の高い音楽家のコンサートや、古閑裕而記念館における企画展等を開催し、日常生活における文化芸術の鑑賞機会を提供します。	市民・文化スポーツ部
46		「ふくしまチェンバー・オーケストラ」活動支援	13,692		音楽堂を拠点に活動するプロのオーケストラ「古閑裕而のまちふくしまチェンバー・オーケストラ」の演奏会開催を支援します。	市民・文化スポーツ部
47		生涯学習アップデート	1,429		著名な講師による講演会を開催し、シニア世代への生涯学習の推進を図ります。	教育委員会
48		市民センター等公共施設予約システムの運用	10,464		市民センターや各学習センターの予約システムを運用し、市民サービスの向上を図ります。	教育委員会

◆10款 教育費

No.	新規 拡充	事業名	予算額 (千円)	うち補正 前倒し分	説明	担当部
49		学習センターの長寿命化	187,000		老朽化した学習センター施設の改修や照明LED化を進めます。	教育委員会
50	拡充	旧広瀬座活用	10,424		再整備を終えた旧広瀬座のリニューアルオープンに向け、R8は、備品・広報等の準備を行います。	市民・文化スポーツ部
51		じょーもびあ宮畑活用推進	8,129		見学学習、地域住民との共創による多彩なイベントを開催し、宮畑遺跡の魅力を発信します。	市民・文化スポーツ部
52	拡充	写真美術館活用推進	11,300		本市文化芸術のさらなる発展を図るため、企画展を開催するとともに、市指定文化財である施設の適正な保護・保存と活用を図ります。 R8は、高精細複製品やプロジェクションマッピング等の映像体験コンテンツを展示する企画展を開催します。	市民・文化スポーツ部
53		図書館サービスの充実	17,336		本館、西口ライブラリー、子どもライブラリー及び各学習センター図書室の図書充実を図ります。	教育委員会
54	拡充	子どもの読書活動推進	1,275		0歳から5歳までの乳幼児への読書啓発(ブックスタート・ブックステップ)、学校支援図書セットの貸出、中高生のビブリオバトル開催など、発達段階に応じた取組を実施します。R8は、司書が公立保育所、認定こども園等で読み聞かせを行い、絵本セットの貸出しを行う「ふくもっちゃんのえほんばこ事業」を開始します。	教育委員会
55		学校図書館の支援	56,935		学校司書を配置するほか、学校図書館指導員を配置し、学校図書館の機能充実を図ります。(学校司書20名、学校図書館指導員1名)	教育委員会
56		電子図書館の運用	4,930		市民のライフスタイルに合わせ、電子書籍の利用ができるよう、電子図書館を運用します。(電子書籍約12,000タイトル)	教育委員会
57		こむこむ館長寿命化	8,531		築20年を超えたこむこむ館の設備の改修を進めます。	教育委員会
58		こむこむ館屋根改修等	427,238		熱反射に優れ放熱もするアルミ製瓦棒葺屋根への改修や、照明LED化を行い、電気使用量を削減します。 【R6～R8継続費 全体事業費833,000千円】	教育委員会
59	拡充	「ふくしまシティハーフマラソン」の開催	53,000		On Your Marks～未来へ走れ、ふくしま～をスローガンに、「ふくしまシティハーフマラソン」の第4回大会を開催します。R8は、競技種目に3km部門を追加します。	市民・文化スポーツ部
60		オリ・パラレガシーの活用	764		東京2020大会やパリパラリンピック2024大会のレガシーを最大限に活かし、ポッチャ交流事業や大会を実施します。	市民・文化スポーツ部

◆10款 教育費

No.	新規 拡充	事業名	予算額 (千円)	うち補正 前倒し分	説明	担当部
61		圏域スポーツ推進	3,312		「福島ユナイテッドFC」や圏域の自治体と連携し、小学生サッカー交流大会を開催します。	市民・文化スポーツ部
62		スポーツコミッションの運営	5,000		合宿・大会の受け入れやパラスポーツ推進、スポーツ参画機会の提供を担うスポーツコミッションの運営を支援します。	市民・文化スポーツ部
63		スポーツホームタウンにぎわい創出	10,936		「福島ユナイテッドFC」と連携したサッカー交流大会などの開催により、交流人口の拡大や中心市街地のにぎわい創出を進めます。	市民・文化スポーツ部
64		古閑裕而杯女子野球大会の開催	300		「古閑裕而杯 第3回中学生女子軟式野球大会」の開催を支援します。	市民・文化スポーツ部
65	新規	第53回東北総合スポーツ大会の開催	2,300		東北総合スポーツ大会の開催を支援します。	市民・文化スポーツ部
66		パラスポーツ振興	176	176	パラアスリート等を学校に派遣し、共生社会の推進を図るとともに、パラスポーツ体験会を開催します。	市民・文化スポーツ部
67		スポーツのまちづくり推進	1,729	1,729	プロバスケットボールチーム「福島ファイヤーボンズ」と連携した3×3等を開催し、中心市街地の活性化を図ります。	市民・文化スポーツ部
68		スポーツ施設の管理運営	451,288		スポーツ施設を管理運営します。	市民・文化スポーツ部
69		スポーツ施設の整備	308,936		老朽化した施設の改修などを行います。 R8は、誠電社WINDYスタジアムの第3種陸上競技場としての公認を更新するための改修工事や、インテックテニスガーデンの人工芝張替工事などを実施します。	市民・文化スポーツ部
70		ジェンダー平等の推進	283		女性が抱える身体的・精神的・経済的負担を軽減するため、公立義務教育諸学校に生理用品を設置します。	教育委員会
71	拡充	水泳授業での民間プール施設等の利用	13,113		老朽化した学校プール施設の使用を中止し、公共プール施設や民間プール施設での水泳授業を行います。(R7:11校→R8:12校)	教育委員会
72		部活動指導体制整備	12,776		中学校の部活動の部活動指導員や休日部活動の地域展開に向けたコーディネーターを配置し、部活動の段階的な地域展開を進めます。	教育委員会

◆10款 教育費

No.	新規 拡充	事業名	予算額 (千円)	うち補正 前倒し分	説明	担当部
73	新規	市立義務教育諸学校の給食無償化	1,327,132		義務教育諸学校に通う児童生徒の給食費の無償化を行います。	教育委員会
74		福島型給食推進事業(私立小学校)	5,962		桜の聖母小中学校に通う児童生徒の給食費の助成を行います。	教育委員会
75		福島型給食推進事業(国立等小中特別支援学校)	24,465		市産食材の使用により地産地消を推進するとともに、子育て世帯の負担を軽減します。	こども未来部
76		給食まるごと検査	25,586		安全安心な給食の提供のため、学校で使用する食材のモニタリング検査を実施し、速やかに公表します。	教育委員会
77	新規	私立小中学校への学校給食提供	13,600		学校給食センターから桜の聖母小中学校に通う児童生徒へ給食の提供を開始します。	教育委員会
78	新規	新学校給食センターの開設	503,236		令和8年4月から新たに中央学校給食センターを開設し、安全で安定的な給食の提供に努めるとともに、アレルギー対応食の提供を開始します。	教育委員会

◆11款 災害復旧費

No.	新規 拡充	事業名	予算額 (千円)	うち補正 前倒し分	説明	担当部
1		除去土壌搬出推進	174,970		個別の事情により搬出が未了となっている除去土壌の現場保管を解消します。	環境部

◆特別会計

No.	会計	新規 拡充	事業名	予算額 (千円)	うち補正 前倒し分	説明	担当部
1	国保特会	新規	システムの標準化とガバメントクラウドの運用	47,313		標準化された住民記録、税、福祉などの業務システムをガバメントクラウド上で運用します。	市民・文化スポーツ部
2	国保特会	新規	システムの標準化とガバメントクラウドの運用	5,330		標準化された住民記録、税、福祉などの業務システムをガバメントクラウド上で運用します。	財務部
3	国保特会	拡充	特定健康診査等の実施	235,831		国保被保険者の特定健診・保健指導を実施するとともに、医療レセプトデータ等を活用し、生活習慣病重症化予防や健康教育、高齢者のフレイル予防に取り組みます。 また、R8は健康測定会と併せた特定保健指導を実施します。	健康福祉部
4	財産区特会		飯坂公衆浴場の湯めぐり企画券発行	446		キャラクターとコラボレーションした企画券等を発行し、飯坂温泉を気軽に楽しめる機会を幅広く提供します。	商工観光部
5	市場特会		市場施設再整備計画	17,213		市場再整備の事業者公募に向け、事業協力方式を導入して公募条件の検討を実施します。	農政部
6	介護特会	新規	システムの標準化とガバメントクラウドの運用	50,858		標準化された住民記録、税、福祉などの業務システムをガバメントクラウド上で運用します。	健康福祉部
7	介護特会	新規	システムの標準化とガバメントクラウドの運用	762		標準化された住民記録、税、福祉などの業務システムをガバメントクラウド上で運用します。	財務部
8	介護特会	新規	介護情報基盤の整備	53,500		利用者、介護事業所、医療機関、自治体等が介護情報等を電子的に閲覧できる情報基盤の整備を進めます。	健康福祉部
9	介護特会		地域包括ケアシステムの推進	100,880		高齢者等の総合相談窓口である「地域包括支援センター」(22箇所)を運営します。 また、認知症高齢者等やその家族と地域や関係職種との連携を推進する「認知症地域支援推進員」や、地域住民らと地域における支え合いの取組を推進する「地域支え合い推進員」を各センターに配置します。	健康福祉部
10	介護特会		在宅医療・介護連携推進	18,114		在宅医療と介護の支援を必要とする方が、地域で自分らしい暮らしを続けることができるよう、医療機関や介護関係者の連携を推進するための窓口として、「福島市在宅医療・介護連携支援センター」を運営します。	健康福祉部
11	介護特会		福島市オレンジプランの推進	2,958		認知症の方も周囲の方も安心して暮らせる地域づくりを推進するため、認知症基本法に基づき「新しい認知症観」の理解を促すとともに、認知症ケアバスの周知や認知症啓発イベントによる普及啓発、認知症カフェ支援等を実施します。	健康福祉部
12	介護特会		認知症サポーター養成・高齢者見守り推進	1,363		地域や学校・企業などにおいて認知症サポーター養成講座を実施します。 また、認知症の方の身元確認ツールを活用し、住み慣れた地域で安心して暮らせる地域づくりを支援します。	健康福祉部
13	後期特会	新規	システムの標準化とガバメントクラウドの運用	11,617		標準化された住民記録、税、福祉などの業務システムをガバメントクラウド上で運用します。	市民・文化スポーツ部

◆特別会計

No.	会計	新規 拡充	事業名	予算額 (千円)	うち補正 前倒し分	説明	担当部
14	後期特会	新規	システムの標準化とガバメントクラウドの運用	762		標準化された住民記録、税、福祉などの業務システムをガバメントクラウド上で運用します。	財務部